

コントロールパネル基本操作手順書

Ver.0.7.2

2023/6/20

改訂履歴

版数	発行日	改訂内容
第 1 版	2021 年 12 月 14 日	初版発行
	2021 年 3 月 30 日	「メールアカウントを作成したい」の項目修正
	2021 年 4 月 7 日	「ドメイン」の説明を追加
	2021 年 10 月 13 日	細かい文言の修正
	2021 年 11 月 2 日	メールボックス仕様について追加
	2021 年 11 月 25 日	「MultiPHP マネージャー」の説明を追加
	2021 年 12 月 14 日	「リダイレクト」の説明を追加
	2022 年 2 月 21 日	「Spam Filters」の説明を追加
	2022 年 4 月 26 日	「jupiter」テーマ版へ画像を変更
	2022 年 6 月 1 日	「メールアドレスを一括で作成したい」、「一括で複数の転送設定をしたい」の項目追加
	2022 年 6 月 8 日	「コントロールパネルのテーマを変更したい」の項目追加
	2022 年 10 月 14 日	cpanel02.jpserve.jp リリースに伴い、URL 追加 サーバ情報確認方法追加 「PHP のバージョンを変更したい」の項目の注意事項を追記
	2022 年 10 月 21 日	FTP クォータ設定について注意事項を追記
	2023 年 1 月 6 日	「PHP のバージョンを変更したい」の項目の注意事項を修正
	2023 年 4 月 26 日	バージョン 110 アップデートに伴い削除済みの機能や細かい文言の修正
	2023 年 6 月 20 日	cpanel03.jpserve.jp リリースに伴い、URL 追加 「PHP のバージョンを変更したい」の項目に cpanel03 での変更方法追記

目次

1. コントロールパネルへのログインについて	1
コントロールパネルへログインしたい	1
コントロールパネルからログアウトしたい	3
コントロールパネルの表示言語を変更したい	4
コントロールパネルへのログインユーザー名を忘れた	5
コントロールパネルへのログインパスワードを忘れた	6
コントロールパネルのログインパスワードを変更したい	6
サーバ情報を確認したい	8
2. メール	10
メールアドレスを作成したい	10
メールアドレスを一括で作成したい	13
<Excel ファイル (.xls)をインポートして作成する場合>	13
<CSV ファイル (コンマ区切り値ファイル) (.csv)をインポートして作成する場合>	16
メールアカウントを削除したい	18
メールアドレスのパスワードを変更したい	20
メールソフトへの設定情報を確認したい	21
<WEB メールから確認する方法>	21
<コントロールパネルから確認する方法>	24
メールボックスの容量を確認・変更したい	25
<Web メールから容量確認を行う場合>	27
メールを別のメールアドレスへ転送したい	28
<転送元アドレスでもメールを受信したい（転送元にもメールを残す）場合>	28
<転送元アドレスで受信せずに転送だけしたい（転送元にメールを残さない）場合>	31
一括で複数の転送設定をしたい	34
<Excel ファイル (.xls)をインポートして転送設定する場合>	34
<CSV ファイル (コンマ区切り値ファイル) (.csv)をインポートして転送設定する場合>	36
メールリングリストを作成したい	38
<メールリングリストの設定>	40
web メールを使用したい	44
<web メールへのアクセス方法>	44
スパムフィルターの設定をしたい	49
3. FTP	51
FTP アカウントを作成したい	51
FTP アカウントを削除したい	53
FTP パスワードを変更したい	54
FTP 容量を変更したい	55

FTP 接続情報を確認したい	56
FTP でデータをアップロードしたい	57
ディスクの使用量を確認したい	58
PHP のバージョンを変更したい	60
4. データベース	62
データベースを新規に作成したい	62
データベースユーザーを追加したい	63
データベースを削除したい	64
データベースユーザーを削除したい	65
5. ドメイン	66
Web サイトを自動的に https で表示するようにしたい	66
Web サイトにリダイレクト設定をしたい	66
6. SSL	71
秘密鍵を作成・アップロードしたい	71
<秘密鍵を新規に作成する場合>	72
<既存の秘密鍵をアップロードする場合>	73
CSR を作成したい	74
SSL 証明書・中間証明書をインストールしたい	76
SSL を有効化したい	78
7. WordPress	81
WordPress をインストールしたい	81

※ご利用のサーバのバージョンによって、一部機能が異なる場合がございますので、予めご了承くださいませ。現在提供中のサーバは下記になります。

- ・ cpanel01.jpserve.jp
- ・ cpanel02.jpserve.jp
- ・ cpanel03.jpserve.jp

1. コントロールパネルへのログインについて

コントロールパネルへログインしたい

- ① ブラウザを開きます。

※cPanel をご利用いただく場合に当社が推奨しているブラウザは下記のとおりです。

Google Chrome

Firefox

- ② ブラウザのアドレスバーに cPanel のコントロールパネル URL を入力し、Enter キーを押します。
URL は下記のとおりです。

<https://cpanel01.jpserve.jp:2083> ※cpanel01.jpserve.jp

<https://cpanel02.jpserve.jp:2083> ※cpanel02.jpserve.jp

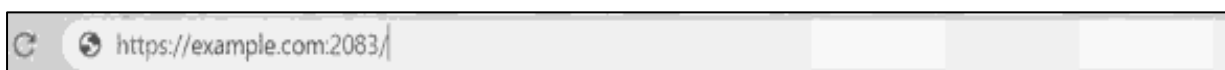
<https://cpanel03.jpserve.jp:2083> ※cpanel03.jpserve.jp

※ご契約ドメイン名が不明な場合はご契約時にご案内したログイン情報メールをご参照ください。

例：Google Chrome の場合



例：Firefox の場合

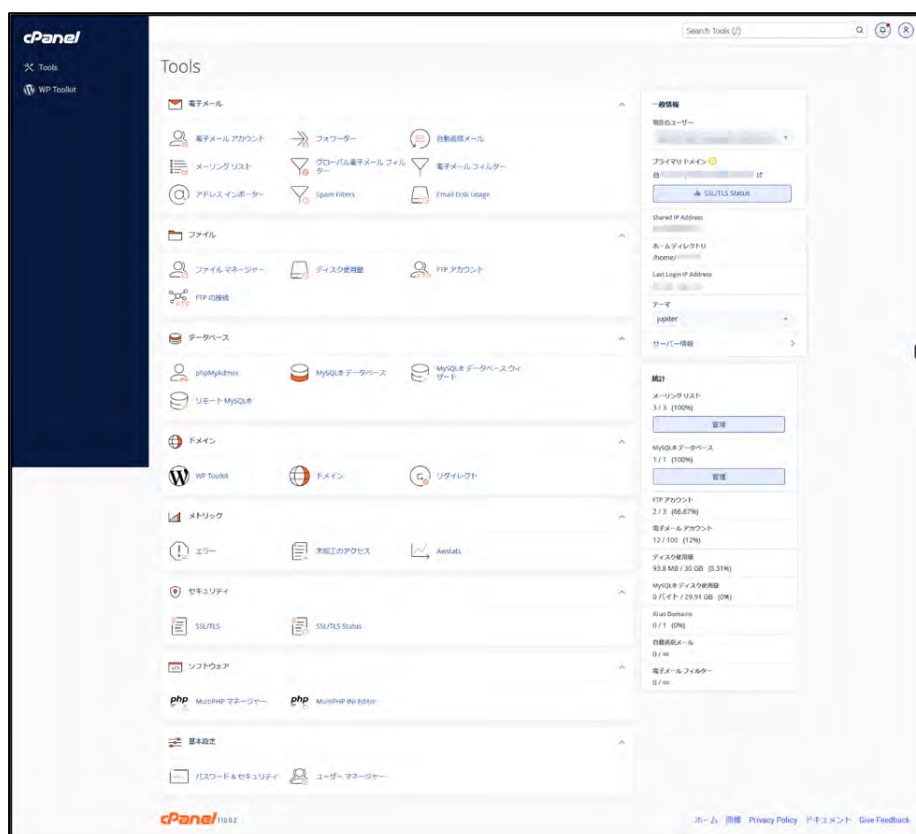


- ③ ユーザー名、パスワード入力画面が表示されますので、ご契約時にメールでご案内したログイン情報に記載されているユーザー名とパスワードを入力して「ログイン」ボタンを押します。



- ④ ログインが成功すると、メインメニュー画面が表示されます。

(参考) JPS スタンダードでご契約の場合

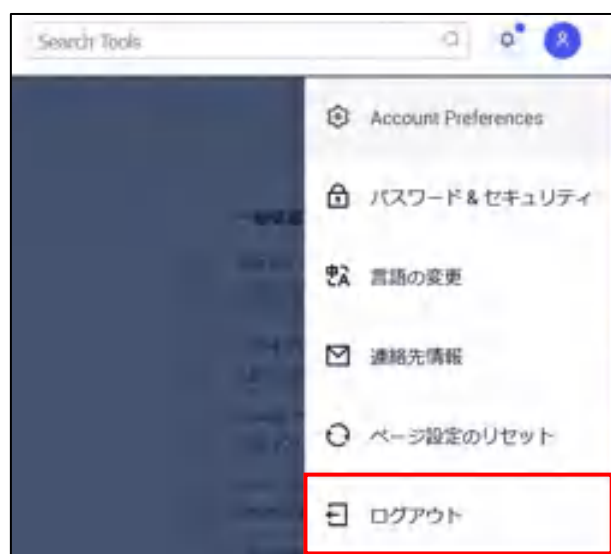


コントロールパネルからログアウトしたい

1. コントロールパネル右上の、「User Menu」アイコンをクリックします。



2. 「ログアウト」をクリックします。



3. コントロールパネルからログアウトされ、ログイン画面に戻ります。



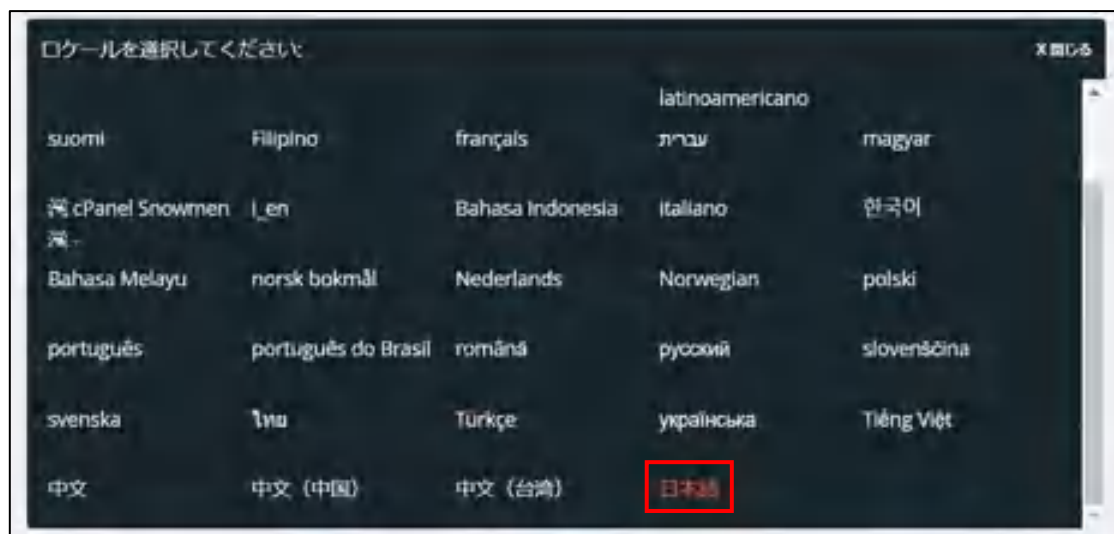
コントロールパネルの表示言語を変更したい

1. デフォルトの表示言語が英語になっている場合があります。変更する場合は、右下の…からロケールの選択画面を開きます。



※仕様上、すべての項目が日本語に翻訳されているわけではありませんので、予めご了承くださいませ。

2. 希望の言語を選択ください。



3. 表示言語が変更されます。



コントロールパネルへのログインユーザー名を忘れた

ログインユーザー名をお忘れの場合は、ご本人様確認の上、弊社より初期ログイン情報をメールで再度ご案内いたします。お手数ですが、以下情報を明記の上、お問合せフォームよりご連絡ください。

<必要事項>

- ・ご契約者名
- ・ご登録住所

- ・ご登録電話番号
- ・ご契約ドメイン名

コントロールパネルへのログインパスワードを忘れた

ログインパスワードをお忘れの場合は、弊社にてパスワードをリセットし、メールでご案内いたしますので、**コントロールパネルログイン画面の「パスワードのリセット」のリンクではリセットを行わないようにお願いいたします。**

お手数ですが、以下情報を明記の上、メールまたはお問合せフォームでご連絡ください。

<必要事項>

- ・ご契約者名
- ・ご登録住所
- ・ご登録電話番号
- ・ご契約ドメイン名

<お問合せ先> info@domo.ne.jp 宛

なお、弊社にてログインパスワードをリセットしますと、下記パスワードも同時にリセットされます。初期パスワードから変更されている場合には、リセット後に改めてお客様にて再設定をお願いいたします。

- ・特別な ftp アカウント
- ・既定の電子メールアカウント（注*）

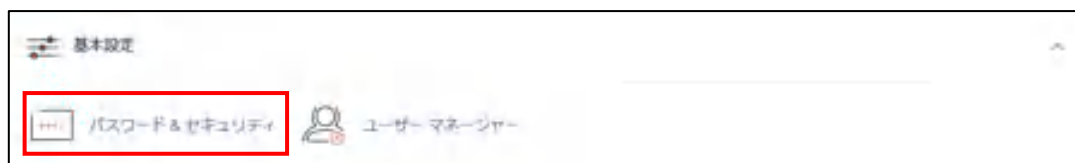
注* 「既定の電子メールアカウント」は、「電子メールアカウント」→「既定値」と表示されているアカウントのパスワードを表しています。

お客様がコントロールパネルで発行された各メールアカウントのパスワードは変更されません。

各メールアカウントのパスワードを変更したい場合は【メールアドレスのパスワードを変更したい】をご参照下さい。

コントロールパネルのログインパスワードを変更したい

1. コントロールパネルへログインし、「パスワード&セキュリティ」をクリックします。



2. 変更画面が表示されます。

パスワードの変更

以下のアカウントパスワードを変更します。Web ホスティングではパスワードの強度は重要です。パスワード生成ツールを使用してパスワードを作成することを強くお勧めします。以下のヒントに従ってパスワードの安全性を確保してください。
注記: パスワードを変更する場合は、現在のセッションを終了します。

強度 (理由)

非常に弱い (0/100)

パスワード生成ツール

☐ ディジエスト認証を有効にする ⓘ ← チェック不要

今すぐパスワードを変更してください

パスワードを保護します:

パスワードは書き留めずに記憶してください。特に、書き留めたパスワードを放置したり、暗号化されていないファイルに保存したりしないでください。異なる組織によって管理されるシステムには、それぞれ関係のないパスワードを使用してください。パスワードは誰にも教えないでください。特に、コンピューター サポートまたはベンダーを名乗る人物には、その身分を確認できない限り、パスワードを教えないでください。パスワードを入力するところを誰にも見られないようにしてください。信頼できないコンピューターでパスワードを入力しないでください。パスワードには期限を設けて、定期的に変更してください。

推測されにくいパスワードを選択してください:

- 特に安全でないパスワードは禁止されていますが、それを完全に信頼できるわけではありません。
- 辞書に載っている語、名前、または個人情報 (誕生日や電話番号など) は使用しないでください。
- 単純なパターンは避けてください。代わりに、大文字、小文字、数字、記号を使用してください。パスワードの長さが 8 文字以上であることを確認してください。
- 新しいパスワードを選択する場合、以前のパスワードに関連していないことを確認してください。

・ 古いパスワード・・・現在のパスワードを入力してください。

・ 新しいパスワード・・・変更後のパスワードを入力してください。

※パスワードの長さは 6 文字以上、強度は 50 以上である必要があります。

※パスワードはパスワード生成ツールでランダム文字列のパスワードを生成することも可能です。

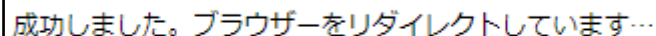
※ドメイン名と同じあるいは一部文字列、辞書に掲載されている英単語等は避けていただき、推測されにくいランダムな文字列を組み合わせたパスワード設定を推奨いたします。

- ・新しいパスワード(再入力)・・・上記で入力したパスワードと同じものを再入力してください。

- ・ダイジェスト認証を有効にする…チェックを入れないでください。

3. 入力が完了したら、「今すぐパスワードを変更してください」をクリックします。

「成功しました。ブラウザをリダイレクトしています」 と表示され、cPanel ログイン画面が再表示されればログインパスワードの変更完了です。

A rectangular box with a thin black border containing the text "成功しました。ブラウザをリダイレクトしています..." in a blue, sans-serif font.

※ここでパスワードの変更を行うと、下記パスワードも同時に変更されますので、ご注意ください。

- ・特別な ftp アカウント
- ・既定の電子メールアカウント (注*)

注* 「既定の電子メールアカウント」は、「電子メールアカウント」→「既定値」と表示されているアカウントのパスワードを表しています。

お客様がコントロールパネルで発行された各メールアカウントのパスワードは変更されません。

各メールアカウントのパスワードを変更したい場合は【メールアドレスのパスワードを変更したい】をご参照下さい。

サーバ情報を確認したい

1. コントロールパネルへログインし、「サーバー情報」をクリックします。



2. サーバ情報が表示され、サーバ名（cpanel01/cpanel02）の確認や、各種バージョンの確認ができます。

サーバー情報

サーバー情報

アイテム	詳細
ホスティングパッケージ	JP5 STD
サーバ名	cpanel01
cPanelバージョン	11.0.0 (build 2)
Apacheバージョン	2.4.57
MySQLバージョン	5.7.42
アーキテクチャ	x86_64
オペレーティングシステム	Linux
共有IPアドレス	192.168.1.1
sendmailのパス	/usr/sbin/sendmail
Perlのパス	/usr/bin/perl
Perlバージョン	5.18.3
カーネルバージョン	3.10.0-1160.el7.x86_64

2. メール

メールアドレスを作成したい

1. コントロールパネルへログインし、「電子メールアカウント」をクリックします。




2. 「作成」をクリックします。



3. メールアカウント作成画面が表示されます。

- ・ユーザー名…メールアドレスの@以前を入力します。
メールアドレス文字数：1～64 文字まで
メールアドレスパスワード：6 文字以上
使用可能文字列：アルファベット・(ドット)ピリオド・ハイフン・アンダースコア

- ・パスワード…メールアカウントのパスワードを設定します。パスワードは 6 文字以上、
強度が 50 以上でなくてはなりません。 のマークをクリックすると、入力したパスワードを確認することができます。



※パスワード生成について

「生成」からランダムなパスワードを自動で作ることも可能です。▼をクリックすると、パスワード生成の際の詳細オプションを設定することができます。
生成されるパスワードは、自動的に 10 文字以上となります。

- ・Optional Settings…右の「Edit Settings」をクリックいただくと、追加オプションメニューが開きます。

CREATE AN EMAIL ACCOUNT Show/Hide Help ?

ユーザー名 ?
 Enter your email address's username here. @example.com

[Missing a domain?](#)

パスワードの入力 生成 ▼

Optional Settings Reset Settings

Storage Space ?
☒ 1024 MB
☐ 無制限

Automatically Create Folders for Plus Addressing ?
☒ Automatically Create Folders
☐ Do Not Automatically Create Folders

☒ Send a welcome email with instructions to set up a mail client.

☐ Stay on this page after I click Create.

+ 作成 戻る

- ・ Storage Space・・・メールアカウントのメールボックスの容量を設定できます。デフォルトでは1024MB になっています。「無制限」を選択する事も可能ですが、無制限でのご利用はスパムメールなどでドメイン全体の容量不足が発生しやすくなりますので、推奨しておりません。ご利用の際はご注意ください。
- ・ Automatically Create Folders for Plus Addressing・・・メールアカウントを作成した際に、自動的にメールのディレクトリを作成するかを選択します。「Automatically Create Folders」を選択してください。
- ・ Send a welcome email with instructions to set up a mail client.・・・チェックを入れると、メール設定情報が新規作成したメールアドレス宛に送信されます。最初にメールアドレスを作成する際にはチェックを入れていただく事をお勧めいたします。
 なお、送信されるメールの件名は下記になります。

件名：[ドメイン名] Client configuration settings for “作成したメールアドレス”

- ・ Stay on this page after I click Create.・・・チェックを入れると、メールアカウント作成後もこのページに留まったままになります。メールアドレスを連続で作成する際にチェックを入れてください。

上記必要情報を入力後、「作成」をクリックします。

4. 電子メールアカウント一覧に、作成したアカウントが追加されていることを確認してください。



※スパム配信防止の為、一定時間内に送信失敗数が既定回数を超えるとアカウントにロックがかかり、一時的にメール送信が不可となります。既定回数を下回った場合には自動解除となります。

※特定 IP アドレスから一定時間内に規定回数を超えて接続失敗すると、該当の接続元 IP アドレスを遮断します。既定時間経過後に自動解除されます。

メールアドレスを一括で作成したい

<Excel ファイル (.xls)をインポートして作成する場合>

1. 一括作成用の Excel ファイル (.xls)を作成します。
 - ① 1 行目に「Email」、「Password」、「Quota」を入力します。
 - ② 「Email」に作成するメールアドレス、「Password」にメールアカウントのパスワード、「Quota」にメールアカウントのメールボックスの容量（単位：MB）を入力します。

例

	A	B	C	D
1	Email	Password	Quota	
2	jill@domain.com	qur9bDRwJvH	1024	
3	bill@domain.com	seMPeB55eqG5	1024	
4	phil@domain.com	uDjV7uc9UbXA	1024	
5				

2. コントロールパネルへログインし、「アドレスインポーター」をクリックします。



3. インポート対象に「電子メールアカウント」を選択します。
「参照」をクリックし、1で作成した Excel ファイル (.xls)を選択後、「次へ」をクリックします。

アドレスインポーター

この機能を使用すると、2種類のファイルを使用してアカウント用に複数の電子メールアドレスや電子メールフォワーダーを同時に作成できます。データのインポートには、Excelスプレッドシートファイル(.xls)またはコンマ区切りシート(CSVファイル)(.csv)を使用できます。CSVファイルは、.csv拡張子が付いているプレテンテッドファイルです。

CSVまたはExcelファイルのインポート設定にヘルプが必要ですか? ヘルプを閲覧してください。

手順1: インポート対象を選択します。

☒ 電子メール アカウント

☐ フォワーダー

手順2: コンピューター上のCSVまたはxlsファイルを見つけます。

参照... example_email.xls

手順3:

☒ 最初の行がヘッダーとして処理されます。

次へ

4. 内容に間違いがないことを確認し、「次へ」をクリックします。

アドレス インポーター

電子メール アカウントのインポート

手順 1

表の各行に対応するパスワードをログインから選択します。

Email	Password	Quota (MB)
		1024
		1024
		1024

手順 2

リストのユーザーのドメインを選択します。複数電子メール アドレスの代わりにユーザー名のリストが列に置かれる場合は、選択リストが表示されます。

ドメイン

終了

5. Excel ファイル (.xls)からインポートする内容が表示されます。
「終了」をクリックするとインポートが実行されます。

アドレス インポーター

電子メール アカウントのインポート

次の電子メール アカウントを確認してください。

電子メール アドレス	パスワード	クォータ (MB)
		1024
		1024
		1024

終了

6. インポートが完了します。続けて作成したい場合は、「その他をインポート」をクリックします。

アドレス インポーター

インポートを実行しています。しばらくお待ちください。

その他をインポート

<CSV ファイル (コンマ区切り値ファイル) (.csv)をインポートして作成する場合>

1. 一括作成用の CSV ファイル (コンマ区切り値ファイル) (.csv)を作成します。
 - ① 1 行目に「Email」、「Password」、「Quota」を入力します。
 - ② 「Email」に作成するメールアドレス、「Password」にメールアカウントのパスワード、「Quota」にメールアカウントのメールボックスの容量 (単位: MB) を入力します。

例

	A	B	C	D
1	Email	Password	Quota	
2	jill@domain.com	qurd9bDRwJvH	1024	
3	bill@domain.com	seMPeB55eqG5	1024	
4	phil@domain.com	uDJV7uc9UbXA	1024	
5				

2. コントロールパネルへログインし、「アドレスインポーター」をクリックします。



3. インポート対象に「電子メールアカウント」を選択します。
「参照」をクリックし、1 で作成した CSV ファイル(.csv)を選択後、区切り記号に「コンマ (,)」を選択し、「次へ」をクリックします。

アドレスインポーター

この機能を使用すると、2種類のファイルを使用してアカウント用に複数の電子メールアドレスや電子メールフォワーダーを同時に作成できます。データのインポートには、Excelスプレッドシートファイル(.xls)またはコンマ区切りシート(CSVファイル(.csv))を使用できます。CSVファイルは、.csv 拡張子が付いているプレーンテキストファイルです。

CSVまたはExcelファイルのインポート設定にヘルプが必要ですか? [ここをクリックしてヘルプを確認してください。](#)

手順1-インポート対象を選択します。

☒ 電子メール アカウント

☐ フォワーダー

手順2-コンピューター上のCSVまたはXLSファイルを見つけます。

参照: example_fwd.csv

手順3

区切り記号の選択

☒ コンマ(,)

☐ スペース

☐ セミコロン(;)

☐ タブ

☐ その他

☒ 最初の行が列ヘッダーとして処理されます。

[次へ](#)

4. 内容に間違いがないことを確認し、「次へ」をクリックします。

アドレスインポーター

電子メール アカウントのインポート

手順 1

次の各列に対応するヘッダーをドロップダウンから選択します。

Email	Password	Quota (MB)
		1024
		1024
		1024

手順 2

リストのユーザーのドメインを選択します。複数の電子メール アドレスの代わりにユーザー名のリストが列に置かれる場合は、選択リストが表示されます。

ドメイン

[完了](#)

5. CSV ファイル(.csv)からインポートする内容が表示されます。
「終了」をクリックするとインポートが実行されます。

アドレスインポーター

電子メール アカウントのインポート

既存の電子メール アカウントを複数追加してください。

電子メールアドレス	パスワード	クォータ (MB)
		1024
		1024
		1024

実行

6. インポートが完了します。続けて作成したい場合は、「その他をインポート」をクリックします。

アドレスインポーター

インポートを実行しています。しばらくお待ちください。

その他をインポート

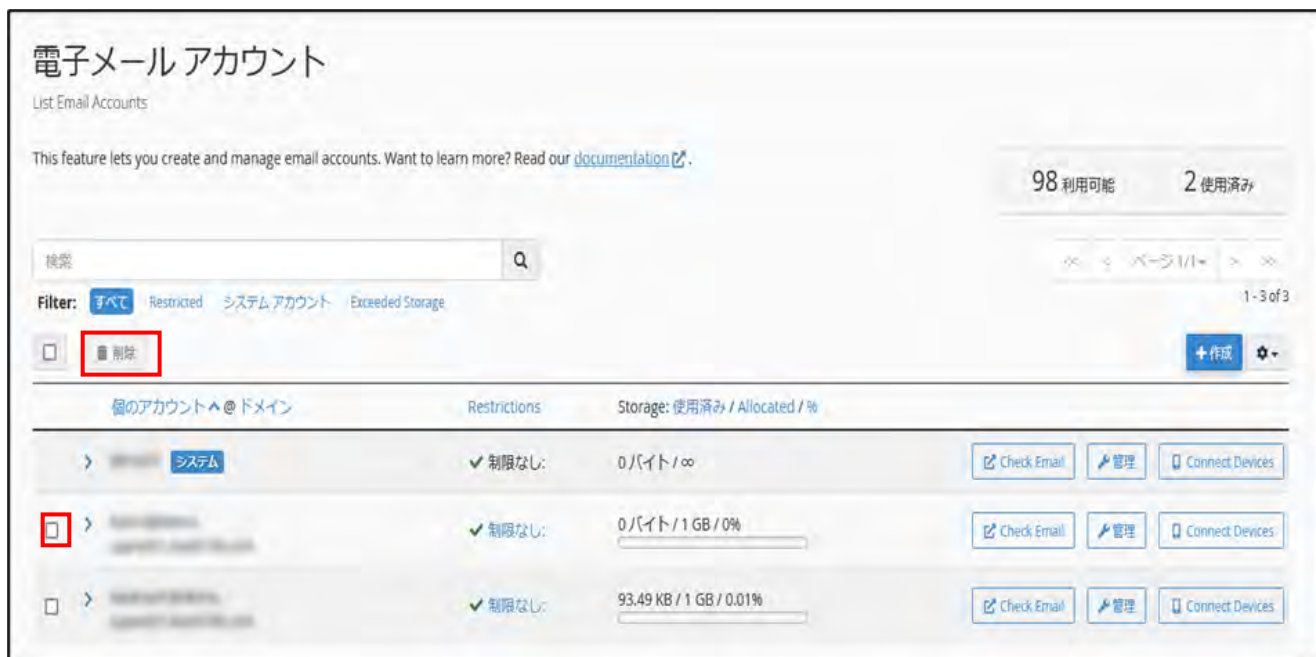
メールアカウントを削除したい

1. コントロールパネルへログインし、「電子メールアカウント」をクリックします。



2. メールアカウントの一覧から、削除したいメールアカウント左のチェックボックスにチェックを入れ、上の「削除」をクリックします。

※複数選択することで、複数削除も可能です。



3. 削除をクリックすると、上に確認画面が表示されますので、メールアカウントを確認の上、間違いがなければ「DELETE」をクリックします。「DELETE」の後ろの括弧内の数字は削除対象のメールアカウント個数です。



※電子メールアカウントを削除すると、サーバー上のメールボックスも削除されます。削除後の復旧は出来かねますので、操作時は十分にご注意下さい。

4. 電子メールアカウント一覧から、アカウントが削除されていることを確認してください




メールアドレスのパスワードを変更したい

1. コントロールパネルへログインし、「電子メールアカウント」をクリックします。



2. メールアカウントの一覧から右の「管理」をクリックします。

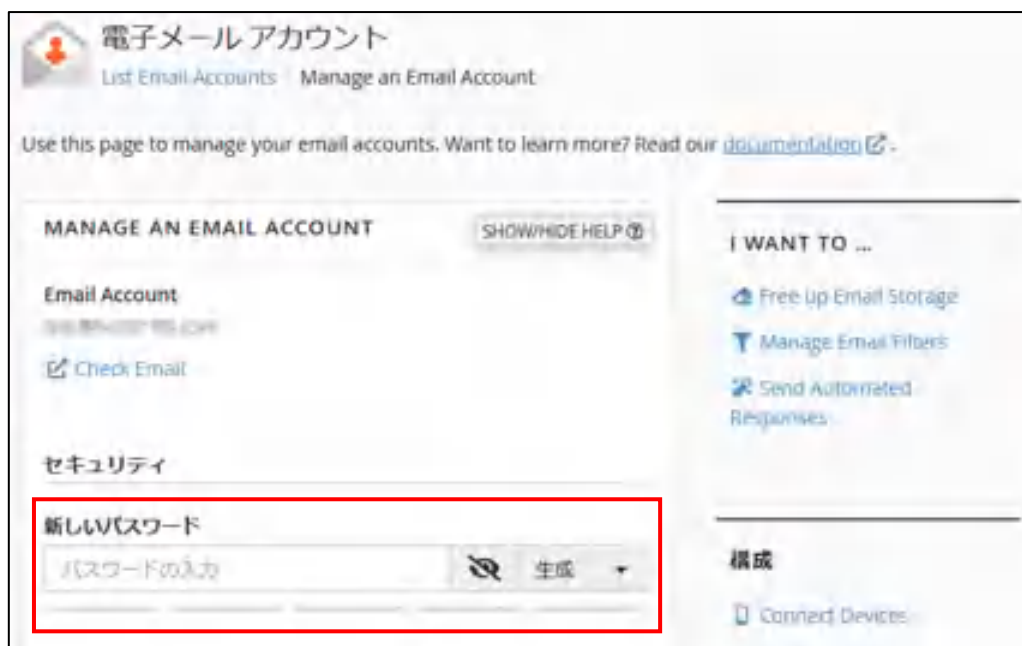


3. 「新しいパスワード」に変更後のパスワードを入力します。パスワードは6文字以上、強度が50以上でなくてはなりません。  のマークをクリックすると、入力したパスワードを確認することができます。

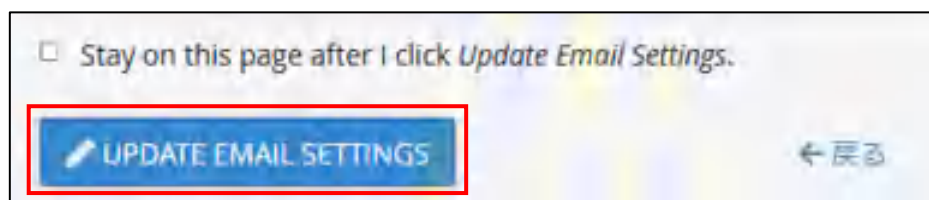


※パスワード生成について

「生成」からランダムなパスワードを自動で作ることも可能です。▼をクリックすると、パスワード生成の際の詳細オプションを設定することができます。
生成されるパスワードは、自動的に10文字以上となります。



4. 新しいパスワードを入力したら、画面下部の「Update Email Settings」をクリックします。



メールソフトへの設定情報を確認したい

<WEB メールから確認する方法>

1. コントロールパネルへログインし、「電子メールアカウント」をクリックします。



2. メールアカウントの一覧から右の「CHECK EMAIL」をクリックし、Web メールを開きます。

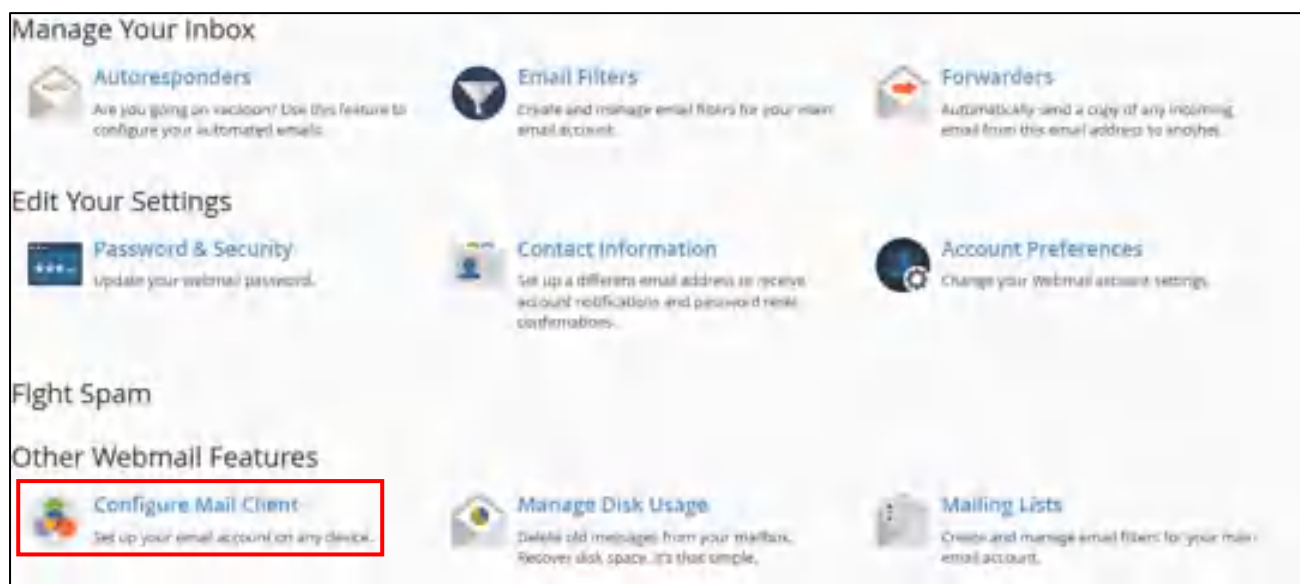


なお、コントロールを介さずに web メール URL (https://ドメイン名:2096) をブラウザのアドレスバーに直接入力してアクセスする事も可能です。web メールについては<web メールへのアクセス方法>をご参照下さい

3. web メール左メニューから「Webmail Home」をクリックします。
(右図は roundcube の場合です。Web メールクライアントは roundcube を推奨しております。こちらの画面が表示されず、直接 Web メール管理メニューが表示される場合があります。その場合は本手順をスキップし、4.へお進みください)

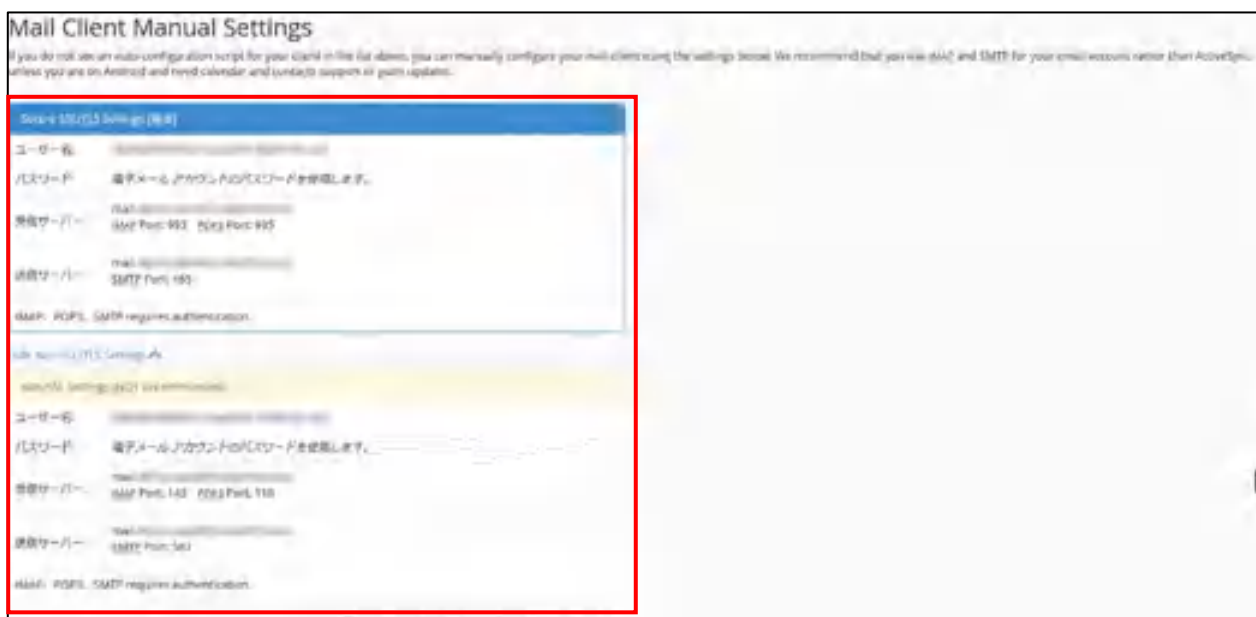


4. Webメールの管理メニューから、「Configure Mail Client」をクリックします。



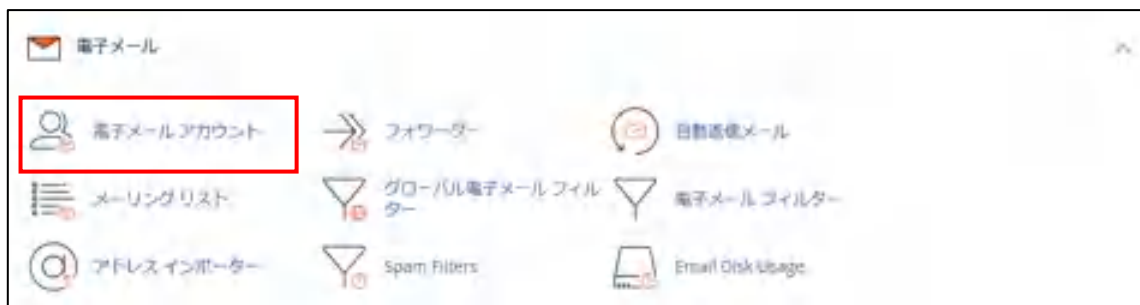
5. メール設定情報が表示されます。

なお、メールアドレスの個別のパスワードはセキュリティ上、表示されない仕様となっております。
万一、メールアドレスのパスワードを忘れた場合は<メールアドレスのパスワードを変更したい>
を参照の上、新しいパスワードを再設定してください。



<コントロールパネルから確認する方法>

1. コントロールパネルへログインし、「電子メールアカウント」をクリックします。



2. メールアカウントの一覧から右の「Connect Devices」をクリックします。



3. 「Mail Client Automatic Configuration Scripts」に、メール設定情報が表示されます。



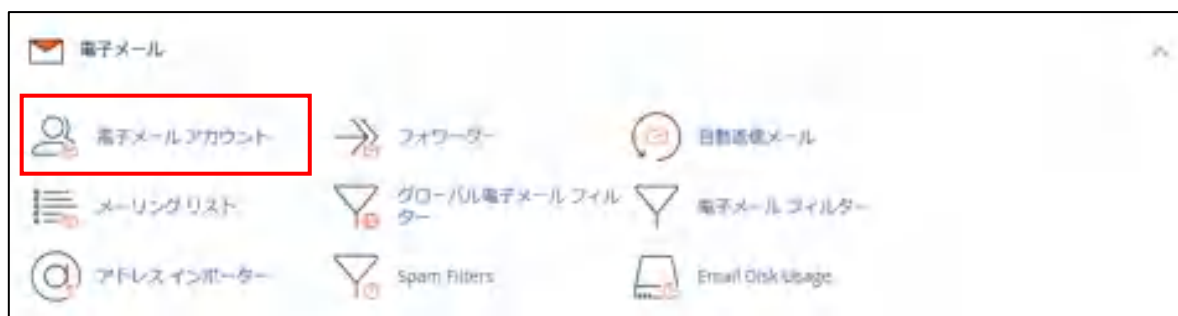
メールボックスの容量を確認・変更したい

サーバの仕様として、メールボックスがいっぱいになるとメール受信のみならず、送信も不可となる場合があります。メールボックスの容量を空けていただいた上で送受信をするか、容量がいっぱいにならないよう、アカウントのクォータの上限を変更いただくことをご検討下さい。

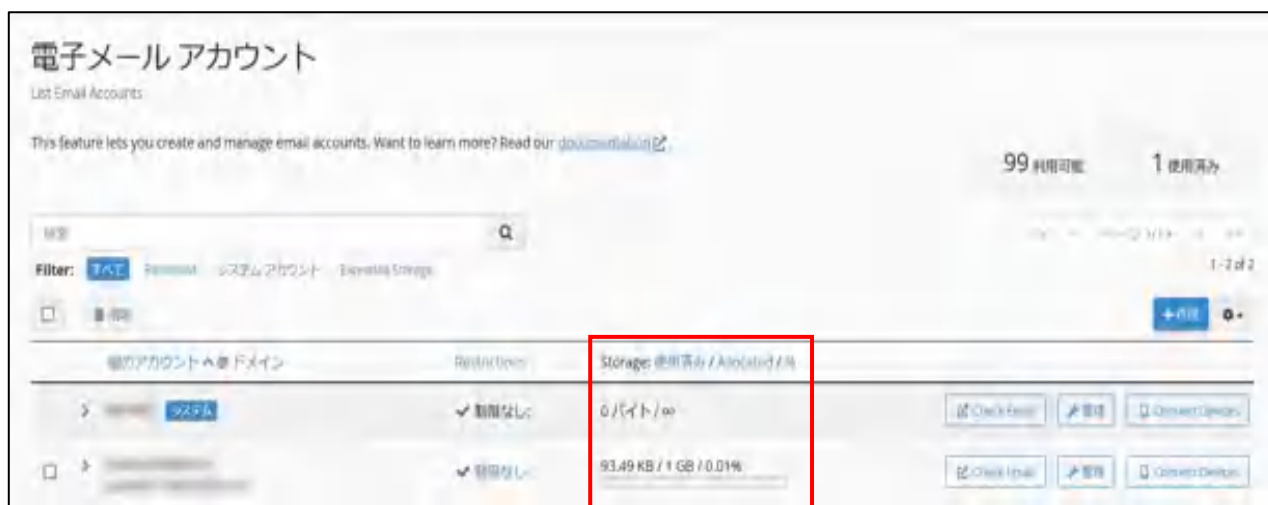
また、ユーザ様がメールソフト(POP3)をご利用で「サーバにコピーを置く」設定をしている場合は、削除日数も併せて指定の上、送受信動作を実施下さいませ。

Web メールのみご利用の場合には、Web メール上でご不要なメールを削除し、空き容量を確保してご利用いただくようお願いいたします。

1. コントロールパネルへログインし、「電子メールアカウント」をクリックします。



2. メールアカウントの一覧が表示されます。各アカウントの容量は「Storage」をご確認下さい。



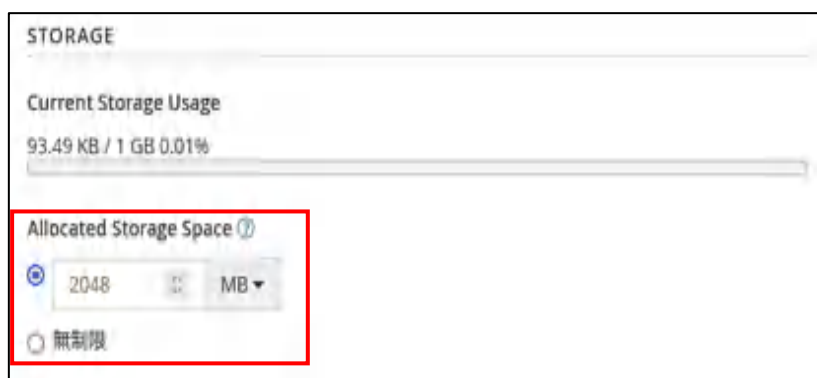
Storage: 使用済み / Allocated / %

- ・ 使用済み：現在の使用中の容量です。
- ・ Allocated：該当メールアドレスの割り当て上限容量です。
- ・ %：割り当て容量に対する使用率です。

3. 容量を変更する場合は、該当メールアカウント右の「管理」をクリックします。



4. 「STORAGE」の「Allocated Storage Space」に希望の容量を入力し、単位を選択するか、「無制限」を選択します。「無制限」を選択する事も可能ですが、無制限でのご利用はスパムメールなどでドメイン全体の容量不足が発生しやすくなりますので、推奨しておりません。ご利用の際はご注意ください。



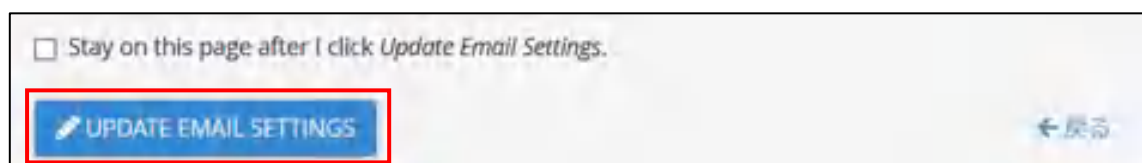
STORAGE

Current Storage Usage
93.49 KB / 1 GB 0.01%

Allocated Storage Space ⓘ

☒ 2048 MB

☐ 無制限



☐ Stay on this page after I click Update Email Settings.

UPDATE EMAIL SETTINGS

← 戻る

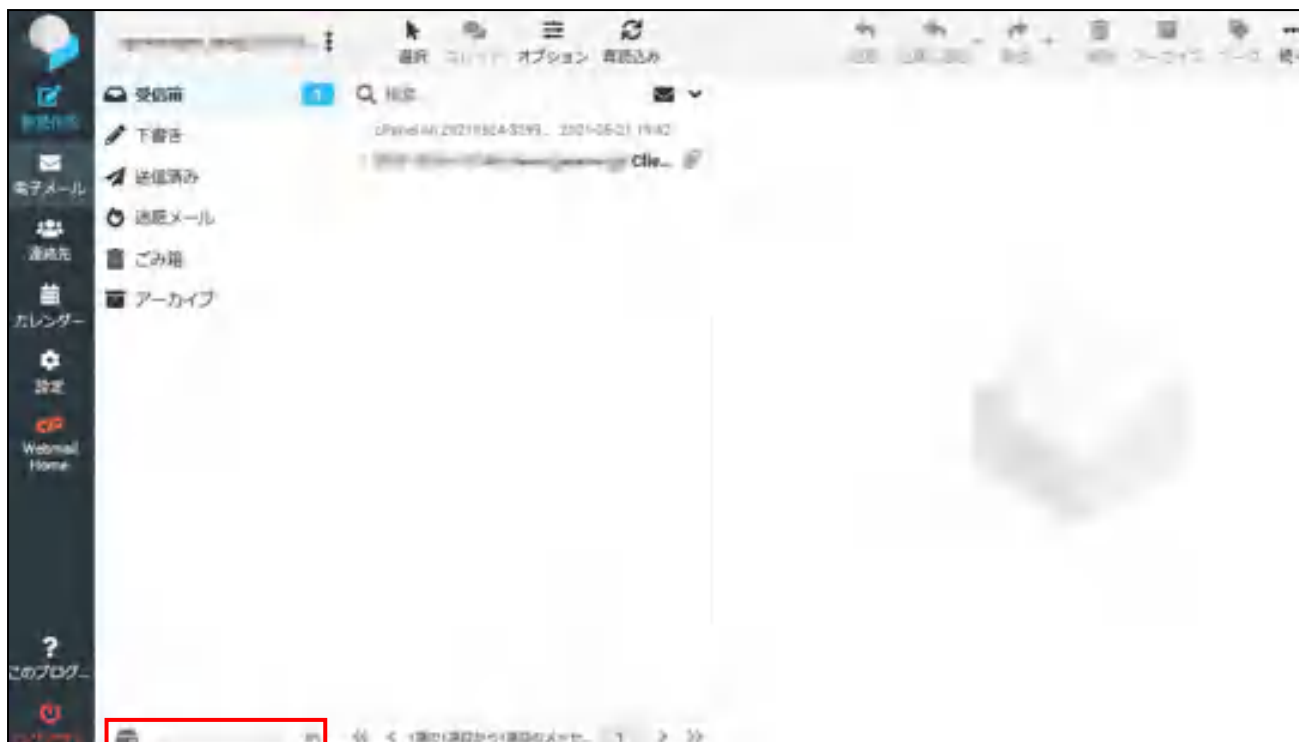
5. メールアカウント一覧画面から、設定した容量に変更されていることを確認します。



電子メール アカウント	Restrictions	Storage: 使用済み / へ / Allocated / %	
> [Account Name]	✓ 無制限なし	0 / バイト / ∞	Check Email 管理 Connected Devices
> [Account Name]	✓ 無制限なし	93.49 KB / 2 GB / 0%	Check Email 管理 Connected Devices

<Web メールから容量確認を行う場合>

1. Web メールにログインし左下部より確認可能です。
※Web メールへのアクセス方法については、「Web メールを使用したい」をご参照ください。



メールを別のメールアドレスへ転送したい

<転送元アドレスでもメールを受信したい（転送元にもメールを残す）場合>

1. コントロールパネルへログインし、「フォワーダー」をクリックします。



2. 「フォワーダーの追加」をクリックします。

3. 必要事項を入力し、「フォワーダーの追加」をクリックします。

- ・ 転送先アドレス・・・「転送先アドレス」と記載がありますが、誤訳です。
実際には【**転送元アドレス**】になります。転送元アドレスの@以前を入力してください。
例) test@ドメイン名に届いたメールを転送したい場合は test と入力します。
※転送元アドレスにメール残さない設定を行いたい場合は、<**転送元アドレスで受信せずに転送だけしたい（転送元にメールを残さない）場合**>をご参照ください。
- ・ ドメイン・・・転送元アドレスになるお客様の独自ドメイン名を選択してください。
(～.pre.jpserve.jp は使用不可)

- ・電子メールアドレスに転送・・・他のアドレスにメールを転送します。転送先の電子メールアドレスを入力してください。「転送先アドレス」で受信したメールは、こちらで入力したメールアドレスへ転送されます。
別のメールアドレスに転送したい場合、転送先のメールアドレスを入力します。複数のメールアドレスに転送したい場合は、半角カンマ区切りでアドレスを入力ください。(例：aaa@**.com,bbb@**.jp)
- ・(SMTP 時間で) 破棄し、エラーを送信者に送信します。・・・メールを転送せず、メール送信元にエラーメッセージを返します。
- ・失敗メッセージ (送信者に表示)・・・上記を選択した際に、メール送信元に返すエラーメッセージを設定します。
- ・「詳細オプション」については、お客様にて任意で設定してください。

4. 入力が完了したら、「フォワーダーの追加」をクリックします。

5. 「転送元メールアドレス」に送信されたすべての電子メールを「転送先メールアドレス」にコピーします。と表示され、転送設定一覧に表示されたら、設定完了です。
6. 複数のメールアカウントを登録した場合は、それぞれのアカウントごとにフォワーダーが作成されます。

「迷惑メール」に送信されたすべての電子メールを「迷惑メール」にコピーします。

電子メールアドレス	転送先	アクション
teacher_bird_mail@bird-mail.com	bird_mail@bird-mail.com	Q トレース 削除
teacher_bird_mail@bird-mail.com	bird_mail@bird-mail.com	Q トレース 削除
teacher_bird_mail@bird-mail.com	bird_mail@bird-mail.com	Q トレース 削除

ページサイズ 10 << < > >>

<転送元アドレスで受信せずに転送だけしたい（転送元にメールを残さない）場合>

1. コントロールパネルへログインし、「フォワーダー」をクリックします。



2. 「フォワーダーの追加」をクリックします。



3. 必要事項を入力し、「フォワーダーの追加」をクリックします。

・転送先アドレス・・・「転送先アドレス」と記載がありますが、誤訳です。
 実際には【**転送元アドレス**】になります。転送元アドレスの@以前を入力してください。転送元アドレスで受信せずに転送だけしたい場合は、メールアカウントを作成していないアカウントを入力してください。

例) test@ドメイン名に届いたメールを転送したい場合は、test@ドメイン名のアカウントを、「電子メールアカウント」から作成していない状態で、test と入力します。
 ※転送元アドレスにメール残す設定を行いたい場合は、<転送元アドレスでもメールを受信したい(転送元にもメールを残す) 場合>をご参照ください。

- ・ドメイン・・・転送元アドレスになるお客様の独自ドメイン名を選択してください。
 (～.pre.jpserve.jp は使用不可)
- ・電子メールアドレスに転送・・・別のメールアドレスに転送したい場合、転送先のメールアドレスを入力します。複数のメールアドレスに転送したい場合は、半角カンマ区切りでアドレスを入力ください。(例：aaa@**.com,bbb@**.jp)
- ・(SMTP 時間で) 破棄し、エラーを送信者に送信します。・・・メールを転送せず、メール送信元にエラーメッセージを返します。
- ・失敗メッセージ (送信者に表示)・・・上記を選択した際に、メール送信元に返すエラーメッセージを設定します。

・「詳細オプション」については、お客様にて任意で設定してください。

4. 入力が完了したら、「フォワーダーの追加」をクリックします。

新しいフォワーダーの追加

アドレス

転送先アドレス:

ドメイン

保存先

☒ 電子メールアドレスに転送

☐ (SMTP 時間で) 破棄し、エラーを送信者に送信します。
失敗メッセージ (送信者に表示)

このアドレスには、該当する人物はいません。

詳細オプション -

フォワーダーの追加

5. 「転送元メールアドレス」に送信されたすべての電子メールを「転送先メールアドレス」にコピーします。と表示され、転送設定一覧に表示されたら、設定完了です。

複数のメールアカウントを登録した場合は、それぞれのアカウントごとにフォワーダーが作成されます。

「test_mail@testcorp.co.jp」に送信されたすべての電子メールを「test_mail@testcorp.co.jp」にコピーします。

電子メールアドレス	転送先	アクション
test_mail@testcorp.co.jp	test_mail@testcorp.co.jp	Q トレース 削除
test_mail@testcorp.co.jp	test_mail@testcorp.co.jp	Q トレース 削除
test_mail@testcorp.co.jp	test_mail@testcorp.co.jp	Q トレース 削除

ページサイズ 10

一括で複数の転送設定をしたい

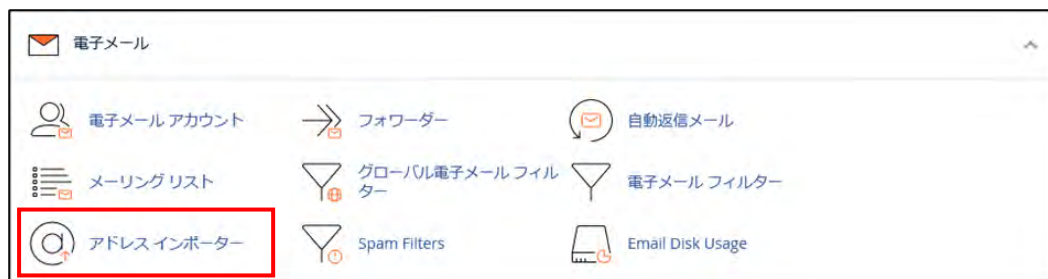
<Excel ファイル (.xls)をインポートして転送設定する場合>

- 一括作成用の Excel ファイル (.xls)を作成します。
 - 1 行目に「Source」、「Target」と入力します。
 - 「Source」に転送元メールアドレス、「Target」に転送先メールアドレスを入力します。
※転送元アドレスで受信せずに転送だけしたい場合は、「Source」にメールアドレスを作成していないアカウントを入力してください。

例

	A	B	C
1	Source	Target	
2	test@domain.com	jill@domain.com	
3	test2@domain.com	bill@domain.com	
4	test3@domain.com	phil@domain.com	
5			

- コントロールパネルへログインし、「アドレスインポーター」をクリックします。



- インポート対象に「フォワーダー」を選択します。
「参照」をクリックし、1 で作成した Excel ファイル (.xls)を選択後、「次へ」をクリックします。

アドレスインポーター

この機能を使用すると、2種類のファイルを使用してアカウント用に複数の電子メールアドレスや電子メールフォワーダーを同時に作成できます。データのインポートには、Excelスプレッドシートファイル(.xls)またはコンマ区切り値シート(CSVファイル(.csv))を使用できます。CSVファイルは、.csv拡張子が付いているプレーンテキストファイルです。

1 CSVまたはExcelファイルのインポート設定に入ルプが必要ですが、ヘルプを確認してください。

手順1: インポート対象を選択します。

☐ 電子メール アカウント

☒ フォワーダー

手順2: コンピューター上のCSVまたはXLSファイルを見つけます。

例: example_fwd.xls

手順3

☒ 最初の行が別ヘッダーとして処理されます。

次へ

4. 内容に間違いがないことを確認し、「次へ」をクリックします。

アドレスインポーター

フォワーダーのインポート

表の各列に対応するヘッダーをドロップダウンから選択します。

Source	Target
test1@	
test2@	
test3@	

次へ

5. Excel ファイル (.xls)からインポートする内容が表示されます。

「終了」をクリックするとインポートが実行されます。

アドレスインポーター

フォワーダーのインポート

次のフォワーダーを確認してください。

ソース	宛先
test1@	
test2@	
test3@	

終了

6. インポートが完了します。続けて転送設定したい場合は、「その他をインポート」をクリックします。



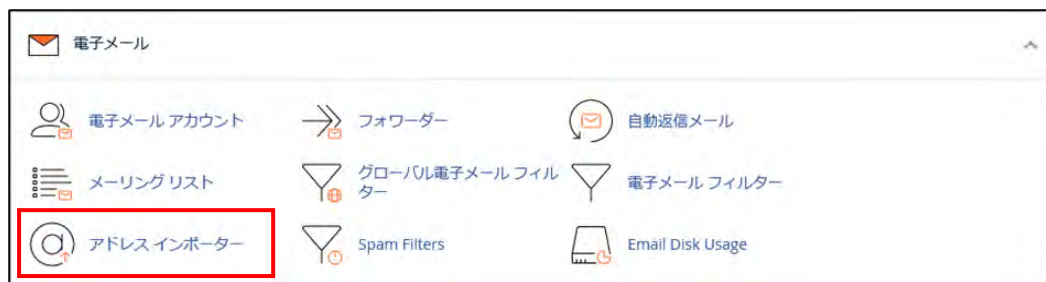
<CSV ファイル (コンマ区切り値ファイル) (.csv)をインポートして転送設定する場合>

- 一括作成用の CSV ファイル (コンマ区切り値ファイル) (.csv)を作成します。
 - 1 行目に「Source」、「Target」と入力します。
 - 「Source」に転送元メールアドレス、「Target」に転送先メールアドレスを入力します。
※転送元アドレスで受信せずに転送だけしたい場合は、「Source」にメールアドレスを作成していないアカウントを入力してください。

例

	A	B	C
1	Source	Target	
2	test@domain.com	jill@domain.com	
3	test2@domain.com	bill@domain.com	
4	test3@domain.com	phil@domain.com	
5			

- コントロールパネルへログインし、「アドレスインポーター」をクリックします。



3. インポート対象に「フォワーダー」を選択します。
「参照」をクリックし、1 で作成した CSV ファイル(.csv)を選択後、区切り記号に「コンマ (,)」を選択し、「次へ」をクリックします。

アドレスインポーター

この機能を使用すると、2種類のファイルを使用してアカウント用に複数の電子メール アドレスや電子メール フォワーダーを同時に作成できます。データのインポートには、Excel スプレッドシート ファイル (.xls) またはコンマ区切りシート (CSV ファイル) (.csv) を使用できます。CSV ファイルは、.csv 拡張子が付いているプレーン テキスト ファイルです。

CSV または Excel ファイルのインポート設定にヘルプが必要ですか? [ヘルプ](#) を確認してください。

手順 1: インポート対象を選択します。

☐ 電子メール アカウント

☒ フォワーダー

手順 2: コンピューター上の CSV または XLS ファイルを見つけます。

[参照...](#) example_fwd.csv

手順 3: 区切り記号の選択

☒ コンマ (,)

☐ スペース

☐ セミコロン (;)

☐ タブ

☐ その他

☒ 最初の行が列ヘッダーとして処理されます。

[次へ](#)

4. 内容に間違いがないことを確認し、「次へ」をクリックします。

アドレスインポーター

フォワーダーのインポート

表の各列に対応するヘッダーをドロップダウンから選択します。

Source	Target
test1@...	test1@...
test2@...	test2@...
test3@...	test3@...

[次へ](#)

5. CSV ファイル(.csv)からインポートする内容が表示されます。
「終了」をクリックするとインポートが実行されます。

アドレスインポーター

フォワーダーのインポート

次のフォワーダーを確認してください

ソース	宛先先
<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>

終了

6. インポートが完了します。続けて転送設定したい場合は、「その他をインポート」をクリックします。

アドレスインポーター

インポートを実行しています。しばらくお待ちください。

☐ will be forwarded to

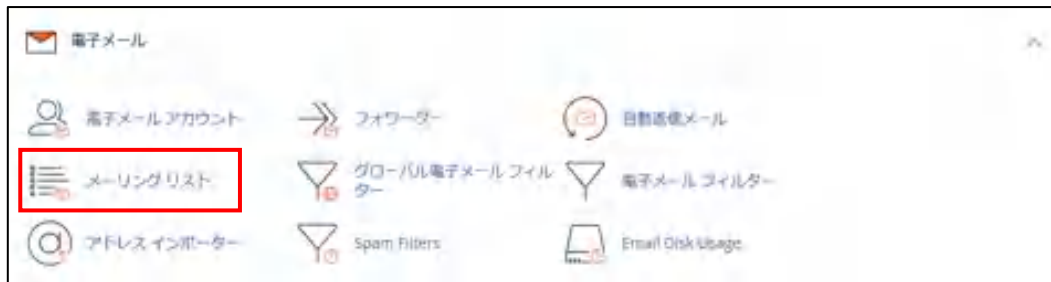
☐ will be forwarded to

☐ will be forwarded to

その他をインポート

メーリングリストを作成したい

1. コントロールパネルへログインし、「メーリングリスト」をクリックします。



2. 必要事項を入力し、「追加」をクリックします。

- ・リスト名…メーリングリストの名前です。
- ・パスワード…メーリングリストのパスワードです。強度が 50 以上である必要があります。
パスワード生成ツールでランダムなパスワードを生成することも可能です。
- ・パスワード(再入力)…上記で入力したパスワードを確認の為、再度入力してください。
- ・アクセスの種類…メーリングリストのパブリック・プライベートを設定できます。
後からでも変更は可能です。
 - ・パブリック…新しい登録者は、電子メールの確認もしくは管理者の承認のみが必要です。
 - ・プライベート…新しい登録者は、電子メールの確認および管理者の承認両方が必要です。

3. 「現在のリスト」に作成したメーリングリストが表示されていれば、作成完了です。

現在のリスト

検索 ページサイズ: 10

リスト名	使用量	アクセス	管理	機能
Test_mailing_list@domain.tld	9.77 KB	private	管理	パスワードの変更 管理 委任
Test_mailing_list@domain.tld	9.7 KB	public	管理	パスワードの変更 管理 委任
Test_mailing_list@domain.tld	9.03 KB	public	管理	パスワードの変更 管理 委任

4. 続いて、メーリングリストの設定を行います。設定を行いたいメーリングリスト右の「管理」をクリックします。

現在のリスト

検索 ページサイズ: 10

リスト名	使用量	アクセス	管理	機能
Test_mailing_list@domain.tld	9.77 KB	private	管理	パスワードの変更 管理 委任
Test_mailing_list@domain.tld	9.7 KB	public	管理	パスワードの変更 管理 委任
Test_mailing_list@domain.tld	9.03 KB	public	管理	パスワードの変更 管理 委任

メーリングリストの設定画面が開きます。

Test_mailing_list メーリングリスト管理

全体的オプション の部

設定分類	他の管理項目
<ul style="list-style-type: none"> [全体的オプション] パスワード 言語オプション 会費管理 着信配送オプション 「まとめ読み」オプション 	<ul style="list-style-type: none"> プライバシー・オプション 配送エラー処理 保存書庫オプション メール<=>ニュース相互配送 自動応答 添付ファイル禁止 話題
	<ul style="list-style-type: none"> 未処理の申請を処理 リスト適合率内のページへ 公開 HTML ページとテキストファイルを編集する リストの保存書庫に移動する ログアウト

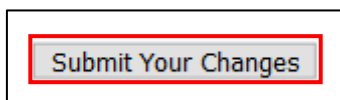
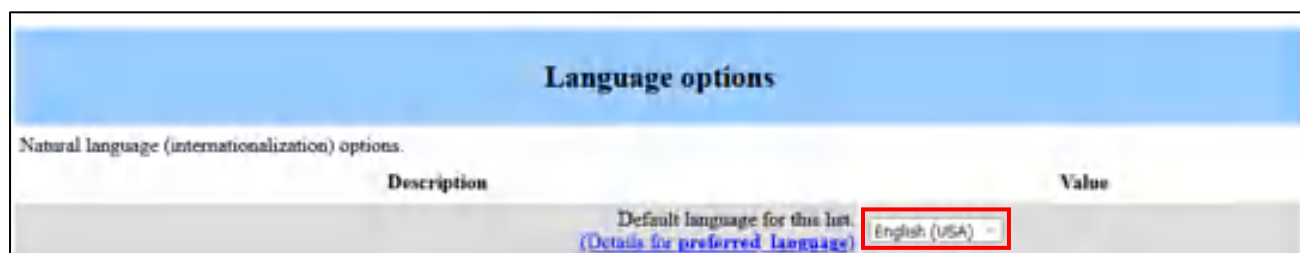
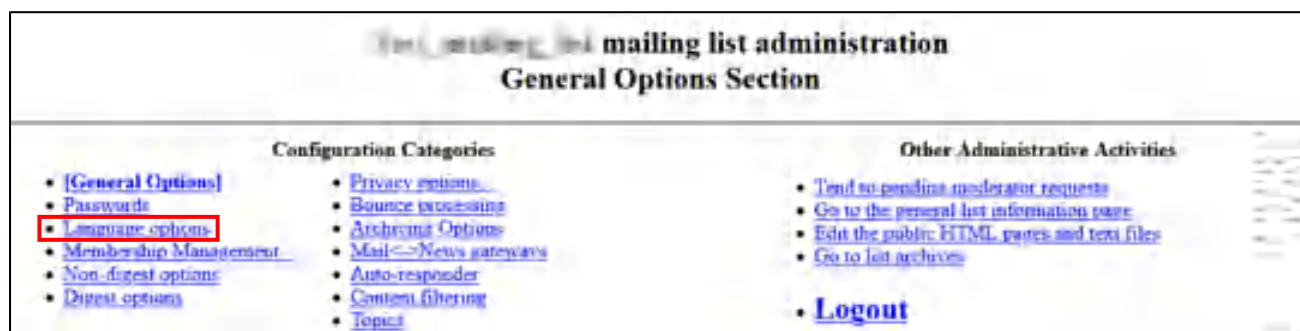
<メーリングリストの設定>

設定項目が多岐にわたるため、一般的なメーリングリスト運用に必要な設定のみ解説いたします。その他の項目につきましては、お客様任意でご利用下さい。

- ・言語を日本語表記にする（[言語オプション](#) の変更）

1. メーリングリストの設定画面が、英語表記になっている場合がございます。

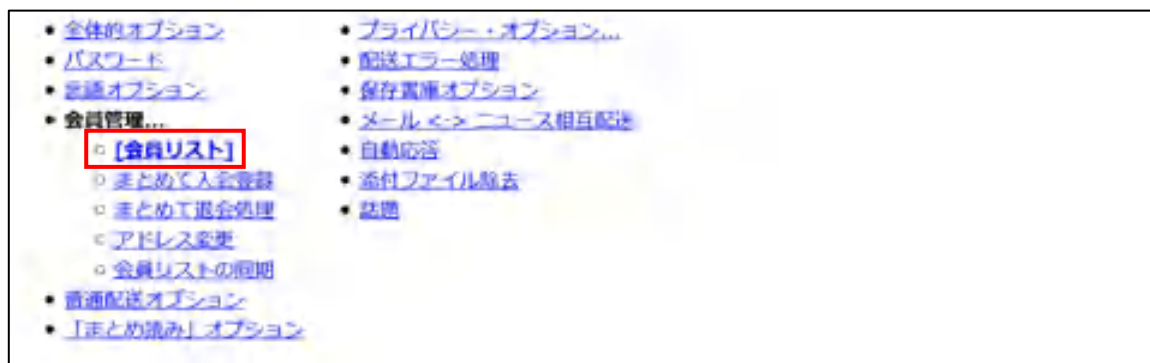
その場合は、「Language Options」をクリックし、「Default language for this list.」が「English(USA)」になっている場合は英語表記が選択されている状態です。「Languages supported by this list.」から変更したい言語（日本語表記にしたい場合は「Japanese」にチェック）を選択し、画面下部の「Submit Your Changes」をクリックしてください。



2. 「Default language for this list.」のプルダウンメニューより「Japanese」が選択可能になります。「Japanese」を選択して、もう一度画面下部の「Submit Your Changes」をクリックしてください。管理画面の言語が変更されたら、変更設定完了です。

・メーリングリスト会員の一覧を確認する

1. 「会員管理」の「会員リスト」をクリックします。



2. 会員一覧が表示されます。

会員リスト

会員検索 [\(ヘルプ\)](#):-

検索...

[この表の説明を表示するには、ここをクリック。](#)

合計 1 名											
退会	会員アドレス 会員名	制限	隠れ会員	配送停止 [理由]	受領	控え無	ダブリ無	まとめ読み	平文	言語	
<input type="checkbox"/>	http://www.example.com/	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	日本語 ▼

なお、未登録時は以下のような表示になります。

合計 0 名										
退会	会員アドレス 会員名	制限	隠れ会員	配送停止 [理由]	受領	控え無	ダブリ無	まとめ読み	平文	言語

- ・メーリングリスト会員を追加する

1. 「会員管理」の「まとめて入会登録」をクリックします。

- [全体的オプション](#)
- [パスワード](#)
- [言語オプション](#)
- [会員管理...](#)
 - [\[会員リスト\]](#)
 - [まとめて入会登録](#)
 - [まとめて退会処理](#)
 - [アドレス変更](#)
 - [会員リストの同期](#)
- [普通配送オプション](#)
- [「まとめ読み」オプション](#)

- [プライバシー・オプション...](#)
- [配送エラー処理](#)
- [保存置庫オプション](#)
- [メール <-> ニュース相互配信](#)
- [自動応答](#)
- [添付ファイル除去](#)
- [誌懸](#)

2. メーリングリストに追加したいアドレスを入力し、「変更を送信する」をクリックします。1 行につき 1 アドレスを入力してください。複数アドレスを登録したい場合は、改行して次のアドレスを入力してください。

まとめて入会登録

これらのアドレスをすぐに登録しますか? それとも招待しますか? ☒ 入会を申し込む ☐ 招待

新入会員に歓迎メールを出しますか? ☐ いいえ ☒ はい

リスト管理者に新規入会を通知しますか? ☒ いいえ ☐ はい

1行に1アドレスを入力...

...またはアップロードするファイルを指定してください。 [参照](#) ファイルが選択されていません。

招待または入会の通知の先頭に付ける文章を以下に入力してください。最終行の後に、空行を1行以上入れてください...

変更を送信する

・メーリングリスト会員の削除

1. 「会員管理」の「まとめて退会処理」をクリックします。

- [全体的オプション](#)
- [パスワード](#)
- [言語オプション](#)
- [会員管理...](#)
 - [【会員リスト】](#)
 - [まとめて入会登録](#)
 - [まとめて退会処理](#)
 - [アドレス変更](#)
 - [会員リストの同期](#)
- [普通配送オプション](#)
- [「まとめ読み」オプション](#)
- [プライバシー・オプション...](#)
- [配送エラー処理](#)
- [保存置庫オプション](#)
- [メール <-> ニュース相互配信](#)
- [自動応答](#)
- [添付ファイル除去](#)
- [誌懸](#)

2. メーリングリストから削除したいアドレスを入力し、「変更を送信する」をクリックします。

web メールを使用したい

<web メールへのアクセス方法>

① ブラウザで直接アクセスする方法

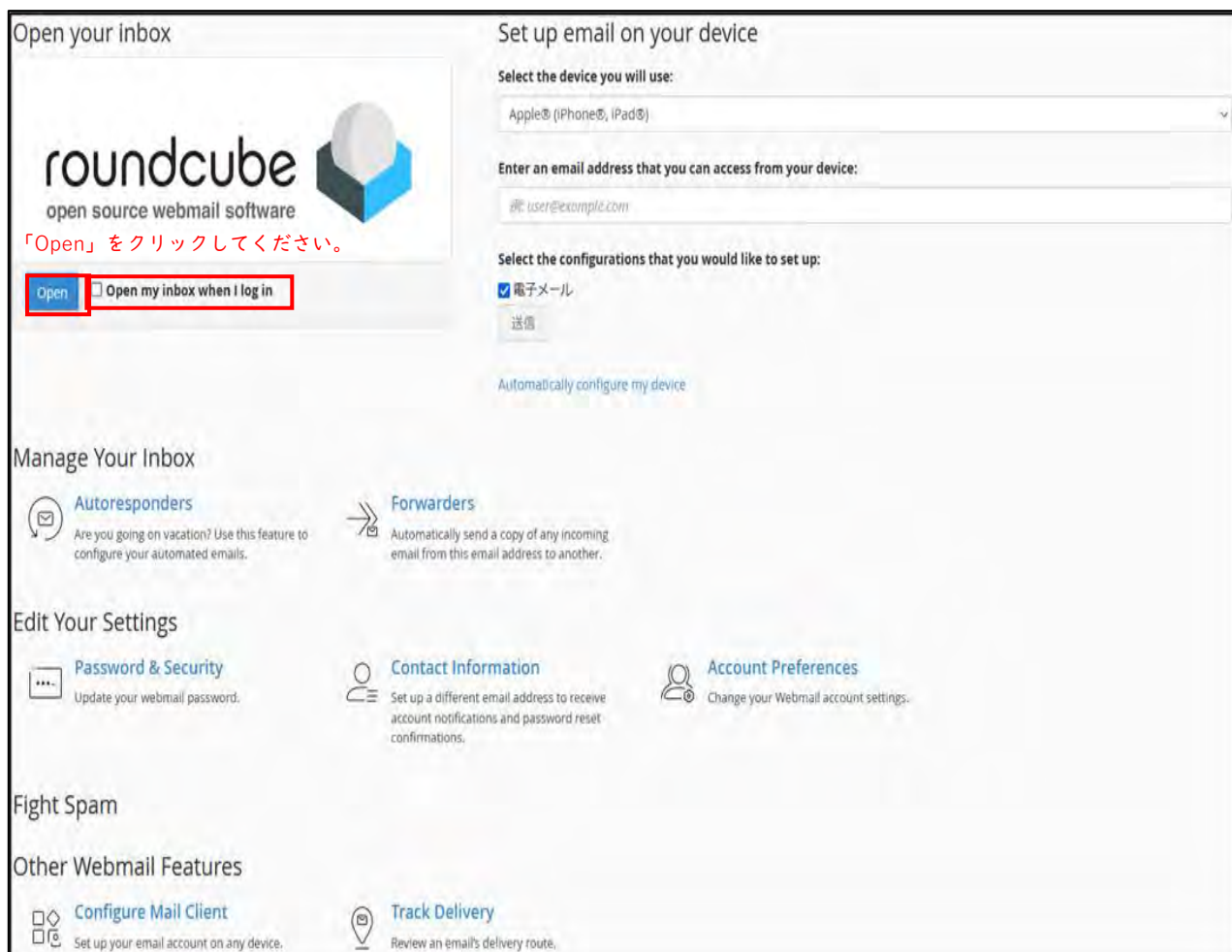
1. ブラウザのアドレスバーに webmail の URL を入力し、Enter キーを押します。
web メールへのアクセス URL は下記です。

https://ドメイン名:2096

2. web メールログイン画面が開きますので、「電子メールアドレス」と「パスワード」を入力して「ログイン」をクリックします。

※パスワードが不明な場合は、コントロールパネルよりメールアカウントのパスワードを再設定してください。

3. Webメールのホーム画面が開きますので、「open」をクリックします。この画面を表示させずに、次回から直接Webメール画面を開く場合は、「Open my inbox when I log in」にチェックを入れてください。



Open your inbox

roundcube
open source webmail software

「Open」をクリックしてください。

☐ Open my inbox when I log in

Set up email on your device

Select the device you will use:

Apple® (iPhone®, iPad®)

Enter an email address that you can access from your device:

user@example.com

Select the configurations that you would like to set up:

☒ 電子メール

[Automatically configure my device](#)

Manage Your Inbox

[Autoresponders](#)
Are you going on vacation? Use this feature to configure your automated emails.

[Forwarders](#)
Automatically send a copy of any incoming email from this email address to another.

Edit Your Settings

[Password & Security](#)
Update your webmail password.

[Contact Information](#)
Set up a different email address to receive account notifications and password reset confirmations.

[Account Preferences](#)
Change your Webmail account settings.

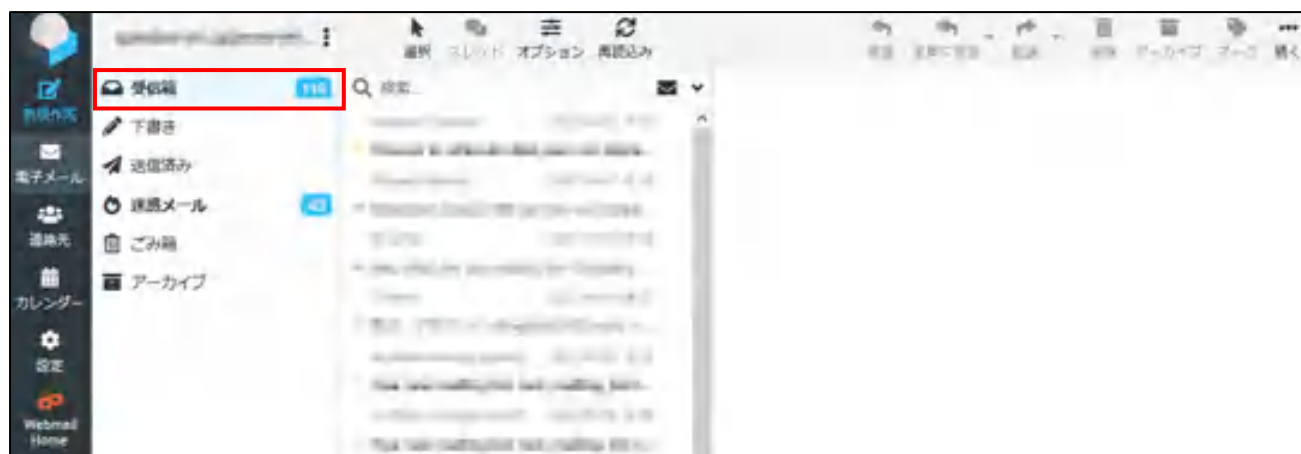
Fight Spam

Other Webmail Features

[Configure Mail Client](#)
Set up your email account on any device.

[Track Delivery](#)
Review an email's delivery route.

4. Web メールが開きます。「受信箱」をクリックすると、受信メールを確認することができます。

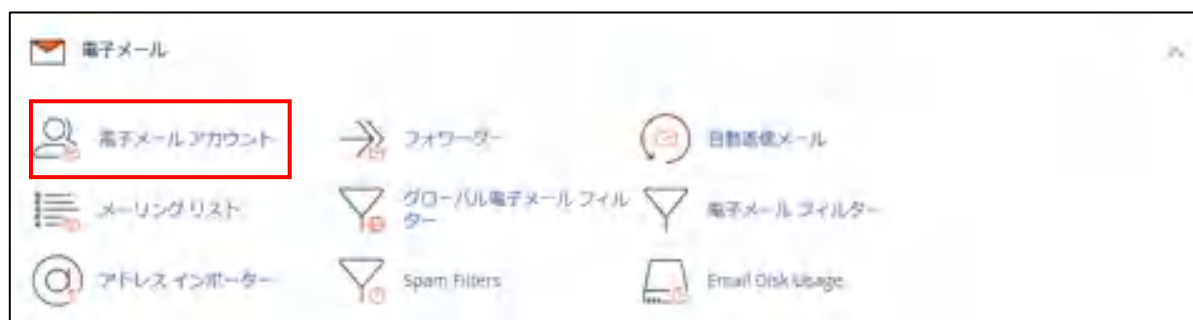


5. Web メールを終了する際は、画面左メニュー欄の下部にある「ログアウト」をクリックします。



② コントロールパネルからアクセスする方法

1. コントロールパネルへログインし、「電子メールアカウント」をクリックします。

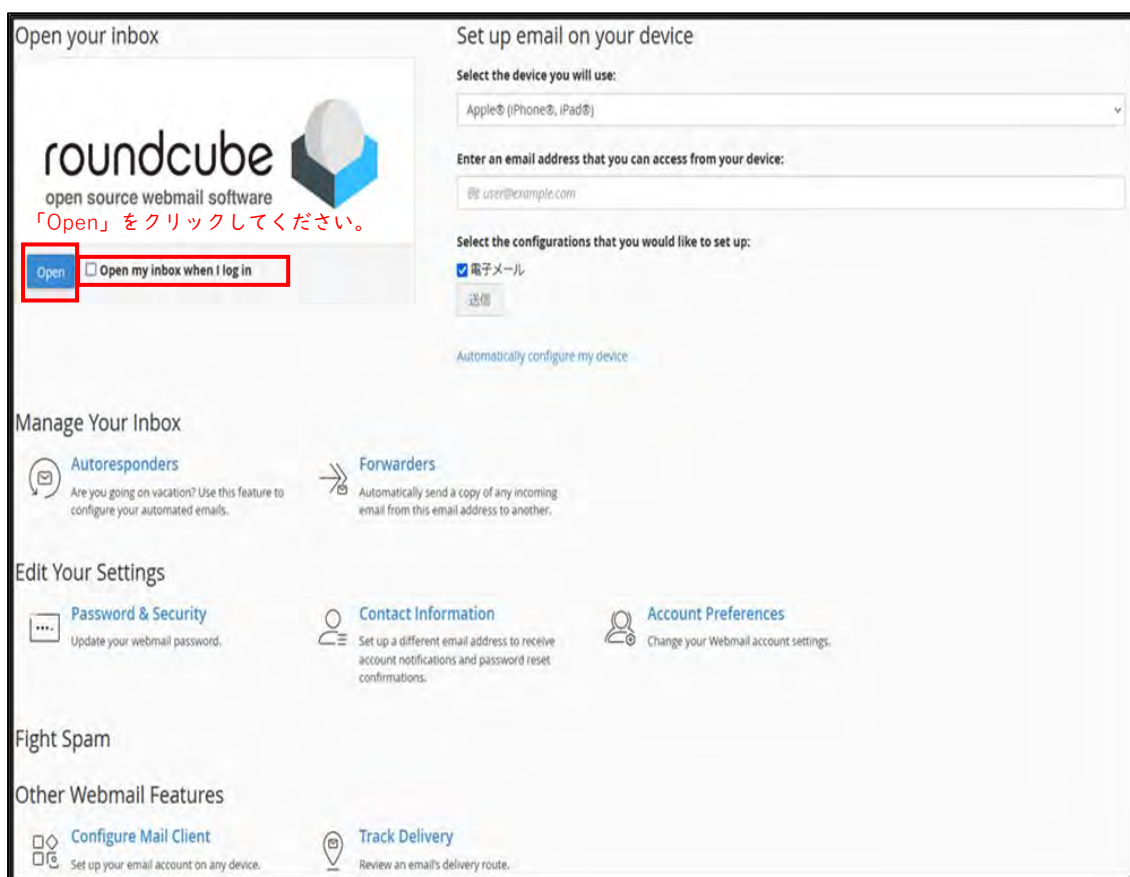


2. メールアカウントの一覧から Web メールを開きたいアカウント右の「Check Email」をクリックします。

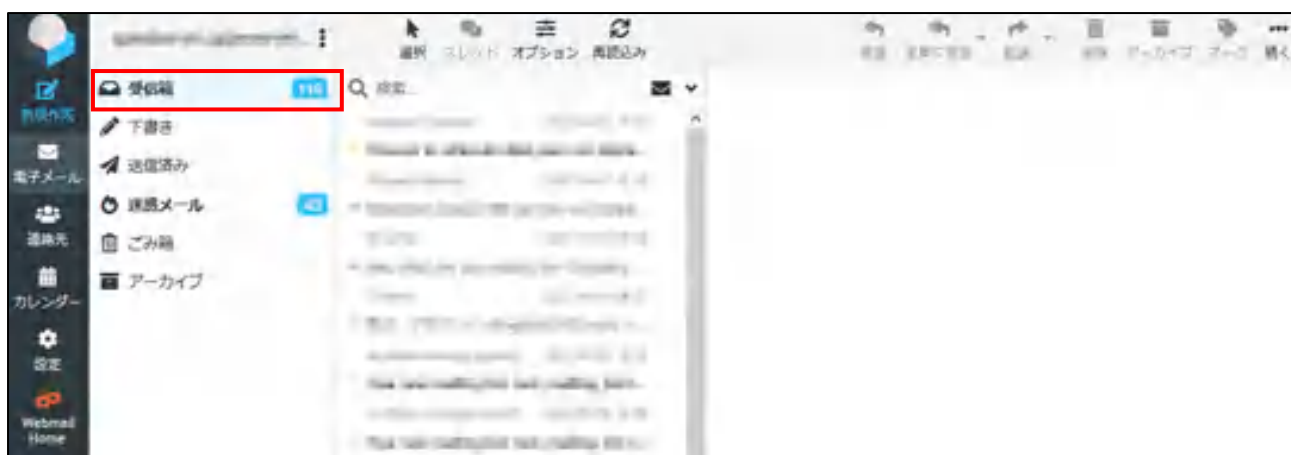


Web メール ホーム画面が開きますので、「open」をクリックします。この画面を表示させずに、次回から直接 Web メール画面を開く場合は、「Open my inbox when I log in」にチェックを入れてください。

※コントロールパネルから web メールを開いた場合は、ログイン情報の再入力は不要です。



3. Web メールが開きます。「受信箱」をクリックすると、受信メールを確認することができます。

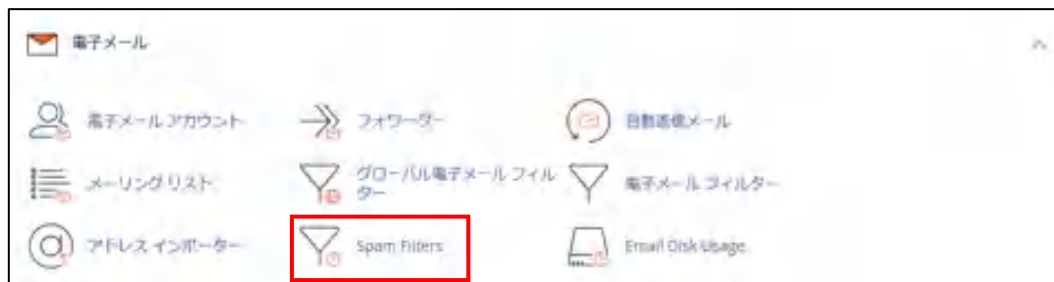


5. Web メールを終了する際は、画面左メニュー欄の下部にある「ログアウト」をクリックします。

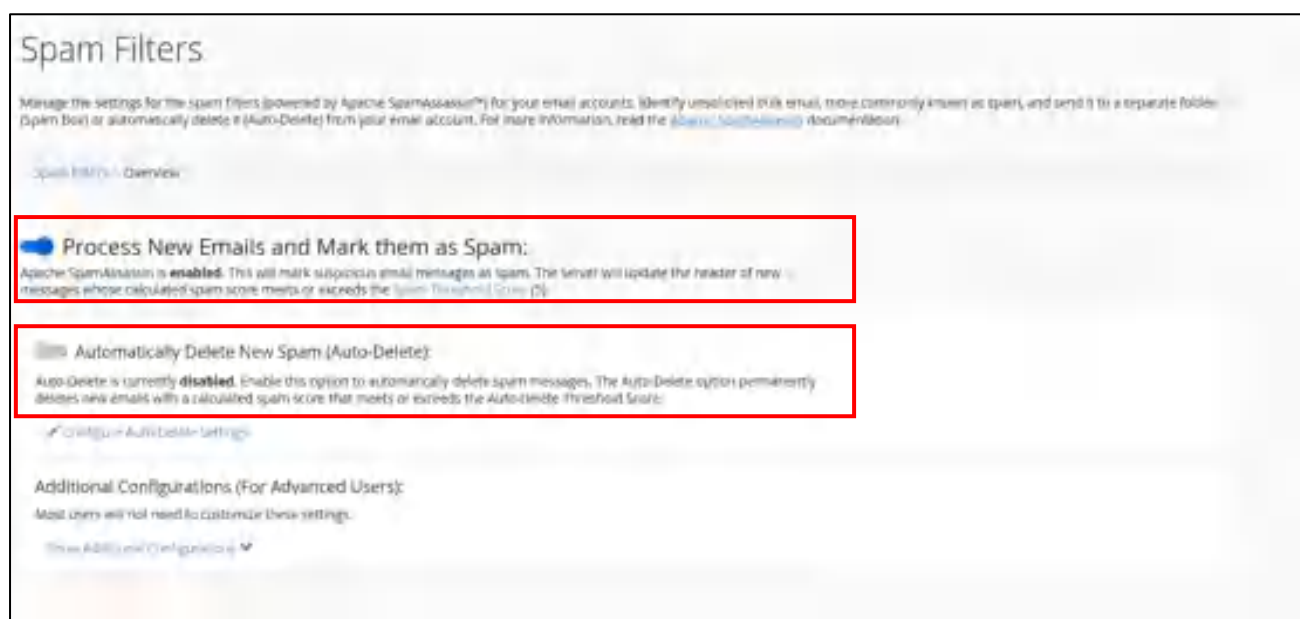


スパムフィルターの設定をしたい

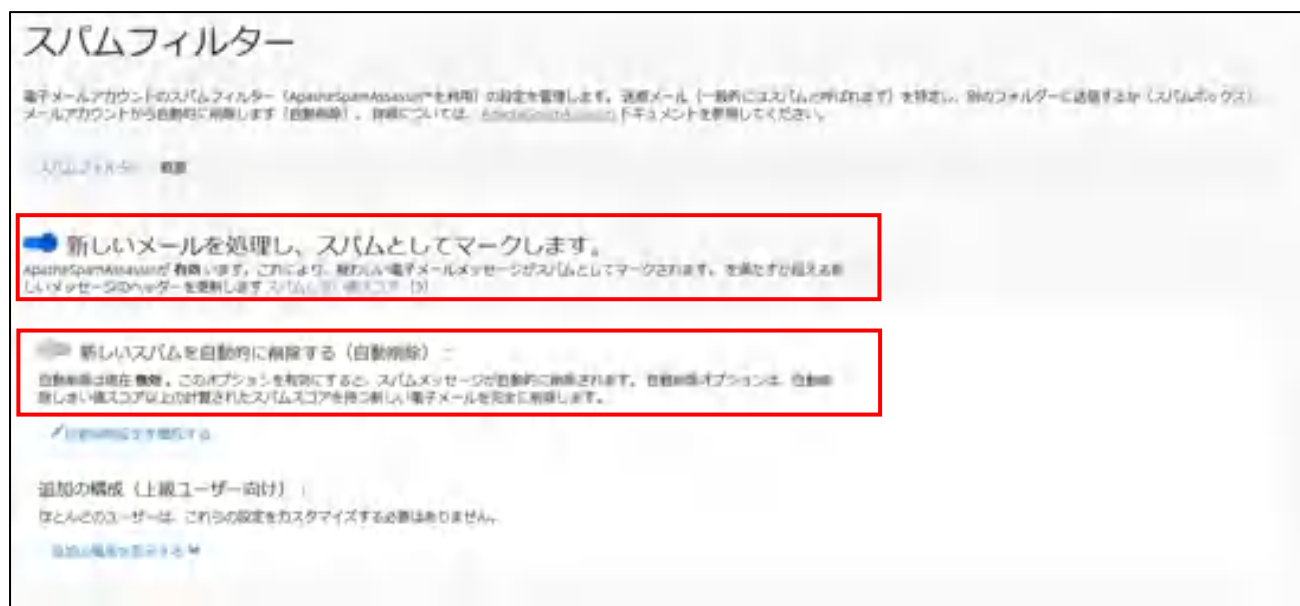
1. コントロールパネルへログインし、「Spam Filters」をクリックします。



2. スパムフィルターの設定画面が表示されます。



ブラウザの機能で日本語に訳すと以下になります。



Process New Emails and Mark them as 迷惑メールの判定のオンオフを切り替えられます。

Spam: デフォルトでは ON になっています。

Automatically Delete New Spam (Auto-Delete): オンにすると迷惑メールと判定されたメールを自動削除します。デフォルトは OFF になっています。

その他の設定については、ご希望の場合はお客様の責任でご設定ください。

3. FTP

FTP アカウントを作成したい

1. コントロールパネルへログインし、「FTP アカウント」をクリックします。



2. 必要事項を入力し、「FTP アカウントの作成」をクリックします。

A screenshot of a web form titled 'FTP アカウントの追加' (Add FTP Account). The form contains several input fields and a button, all of which are highlighted with red rectangular boxes. The fields are: 'ログイン' (Login), 'パスワード' (Password), 'パスワード (再入力)' (Password (Re-enter)), '強度' (Strength) with a sub-field showing '非常に弱い (0/100)', 'ディレクトリ' (Directory) with a sub-field showing '/home/...', and 'クォータ' (Quota) with a sub-field showing '2000 MB' and a radio button for '無制限' (Unlimited). The button at the bottom is labeled 'FTP アカウントの作成' (Create FTP Account). A 'パスワード生成ツール' (Password Generator) button is also visible next to the strength field.

- ・ログイン：任意の FTP アカウント入力してください
- ・ドメイン：独自ドメインを選択します。
- ・パスワード：FTP パスワードを入力してください。
※パスワードは 6 文字以上、強度 50 以上である必要があります。
- ・パスワード（再入力）：前項と同じものを再度入力してください。

- パスワード生成ツール
- パスワード生成ツール
- パスワードの生成
- 詳細オプション
- 長さ: 12 (10-18)
- 英字: 英字以外:
- ☒ 両方 (aBcD) ☒ 両方 (1@3\$)
- ☐ 小文字 (abc) ☐ 数 (123)
- ☐ 大文字 (ABC) ☐ 記号 (@#\$)
- ☐ このパスワードを安全な場所にコピーしました。
- パスワードの使用 キャンセル

3. FTP アカウントの作成が完了すると、下に作成済みの FTP アカウント一覧が表示されます。

FTP アカウント

ページ 1/1 の 15

ログイン	パス	使用量 / クォータ	アクション
ftp://example.com	example.com	0 / 100 MB	パスワードの編集 クォータの編集 削除 FTPクライアントの追加
ftp://example.com	example.com	0 / 100 MB	パスワードの編集 クォータの編集 削除 FTPクライアントの追加
ftp://example.com	example.com	0 / 100 MB	パスワードの編集 クォータの編集 削除 FTPクライアントの追加

特別な FTP アカウント

特別な FTP アカウントは、ホスティングアカウントの管理項目にリンクされており、削除できません。詳細については、[Documentation](#)を参照してください。

種類	ログイン	パス	使用量 / クォータ	アクション
人	example.com	example.com	17 / 10240 MB	FTPクライアントの追加
人	example.com	example.com	17 / 10240 MB	FTPクライアントの追加

52

数が異なります。

FTP アカウントを削除したい

1. コントロールパネルへログインし、「FTP アカウント」をクリックします。



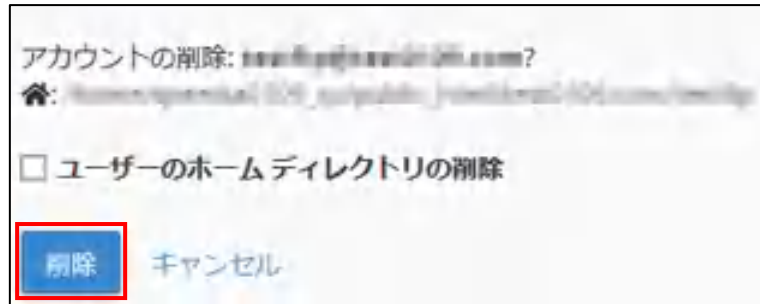
2. FTP アカウント一覧から、削除したいアカウント右の「削除」をクリックします。



※cpanel02.jpserve.jp/cpanel03.jpserve.jp では、クォータ設定機能がございませんので画面の項目数が異なります。

3. 「削除」をクリックしたアカウントの下に、再度「削除」ボタンが表示されます。
アカウントと一緒にユーザーのホームディレクトリも削除する場合は、「ユーザーのホームディレクトリの削除」にチェックを入れて削除ボタンをクリックしてください。

※アカウントと一緒に削除したホームディレクトリは復旧できませんので、十分にご注意ください。



FTP パスワードを変更したい

1. コントロールパネルへログインし、「FTP アカウント」をクリックします。



2. FTP アカウント一覧から、パスワードを変更したいアカウント右の「パスワードの変更」をクリックします。

※特別な FTP アカウントのパスワードはここでは変更できません。変更する場合は、【コントロールパネルのログインパスワードを変更したい】をご参照ください。



※cpanel02.jpserve.jp/cpanel03.jpserve.jp では、クォータ設定機能がございませんので画面の項目数が異なります。

3. 新しい FTP パスワードと、確認のために再度同じパスワードを入力します。パスワード生成ツールで生成することも可能です。入力後、「パスワードの変更」をクリックします。

※パスワードは 6 文字以上、強度 50 以上である必要があります。

FTP 容量を変更したい

※cpanel01.jpserve.jp ご利用のお客様のみ設定可能な内容となります。

cpanel02.jpserve.jp/cpanel03.jpserve.jp では、FTP 容量の変更はできませんのでご了承ください。

1. コントロールパネルへログインし、「FTP アカウント」をクリックします。



2. FTP アカウント一覧から、容量を確認したいアカウント右の「クォータの変更」をクリックします。

ログイン	パス	使用量 / クォータ	アクション
root@domain.com	/home/domain.com/~root	0 / 20 MB	パスワードの変更 クォータの変更 削除 FTP クライアントの追加
ftp@domain.com	/home/domain.com/~ftp	0 / 20 MB	パスワードの変更 クォータの変更 削除 FTP クライアントの追加
ftp@domain.com	/home/domain.com/~ftp	0 / 20 MB	パスワードの変更 クォータの変更 削除 FTP クライアントの追加

3. 新しいクォータを入力します。クォータを設定しない場合は、「無制限」をクリックしてください。設定後、「クォータの変更」をクリックします。

※クォータを無制限に変更しても、契約プランのドメイン全体の容量は変更されませんので、ご注意ください。



4. FTP アカウント一覧から、クォータが変更されたことを確認します。

FTP アカウント			
ログイン	パス	使用量 / クォータ	アクション
test@example.com	test@exampl... (隠蔽)	0 / 100 MB	パスワードの変更 / クォータの変更 / 詳細 / FTP クライアントの構成
test2@example.com	test2@exampl... (隠蔽)	0 / 100 MB	パスワードの変更 / クォータの変更 / 詳細 / FTP クライアントの構成
test3@example.com	test3@exampl... (隠蔽)	0 / 100 MB	パスワードの変更 / クォータの変更 / 詳細 / FTP クライアントの構成

※cpanel02.jpserve.jp/cpanel03.jpserve.jp では、クォータ設定機能がございませんので画面の項目数が異なります。

FTP 接続情報を確認したい

1. コントロールパネルへログインし、「FTP アカウント」をクリックします。

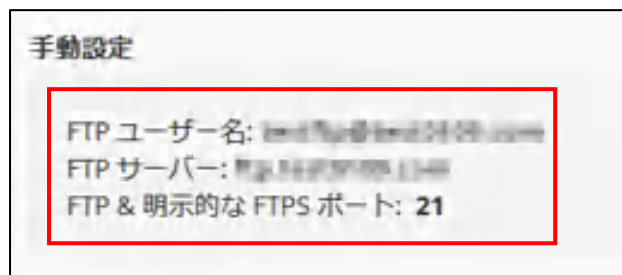


2. FTP アカウント一覧から、FTP 接続情報を確認したいアカウント右の「FTP クライアントの構成」をクリックします。

FTP アカウント			
ログイン	パス	使用量 / クォータ	アクション
test@example.com	test@exampl... (隠蔽)	0 / 100 MB	パスワードの変更 / クォータの変更 / 詳細 / FTP クライアントの構成
test2@example.com	test2@exampl... (隠蔽)	0 / 100 MB	パスワードの変更 / クォータの変更 / 詳細 / FTP クライアントの構成
test3@example.com	test3@exampl... (隠蔽)	0 / 100 MB	パスワードの変更 / クォータの変更 / 詳細 / FTP クライアントの構成

※cpanel02.jpserve.jp/cpanel03.jpserve.jp では、クォータ設定機能がございませんので画面の項目数が異なります。

3. FTP 接続情報が表示されます。



① 通常の FTP アカウントの場合

- ・FTP ユーザー名：@以前、もしくは@以降を含めたすべてが FTP アカウントになります。
(例：test もしくは test@example.jp)
- ・FTP サーバー：FTP ホスト名です。
- ・FTP & 明示的な FTPS ポート(ポート番号)：ポート番号は 21 になります。

② 特別な FTP アカウントの場合

<メインアカウント>

- ・FTP ユーザー名：「cPanel のログインアカウント」と同じになります。
- ・FTP サーバー：FTP ホスト名です。
- ・FTP & 明示的な FTPS ポート(ポート番号)：ポート番号は 21 になります。

<ログアクセスアカウント>

- ・FTP ユーザー名：「cPanel のログインアカウント_logs」になります。
cPanel のログインアカウントが test の場合・・・test_logs
- ・FTP サーバー：FTP ホスト名です。
- ・FTP & 明示的な FTPS ポート(ポート番号)：ポート番号は 21 になります。

※FTP 接続の際は「暗号化なし」で接続をするようにお願いします。(FTP クライアントによって表記は異なります)

FTP でデータをアップロードしたい

1. 「FTP 接続情報を確認したい」で確認した FTP アカウント情報を FTP ソフトに設定し、FTP で接続し、アップロードします。FTP ソフトの使用方法については、提供元にご確認ください。

※ホームページ製作作業は、以下 public_html 内をお願いいたします。

/home/cPanel のログインアカウント/public_html

※万一、誤って public_html フォルダを消してしまった場合、ホームページが表示不可となりますので、

十分にご注意下さい。なお、お客様自身で再度 public_html フォルダを作成いただくことは可能です。その際はホームページデータも再度アップロードを行っていただくようになります。

ディスクの使用量を確認したい

1. コントロールパネルへログインし、「ディスク使用量」をクリックします。



2. ディレクトリ一覧が表示されます。各ディレクトリをクリックすると、ファイルマネージャーが開きさらにファイルとディレクトリの一覧が表示されます。/tmp フォルダは、アクセス解析関連のファイルが保存されています。

テキスト検索機能は検索エンジンを使用してオブジェクトの内部構造を検索を可能にします。表示されるデータは、すべて最も大きいディレクトリに属しています。個々のファイルの内部データを確認する場合は、ファイルメニューから検索を実行します。個々のデータベースのデータを検索する場合は、MySQL検索を使用します。詳細については、[documentopの検索](#)に関する記事を参照してください。

場所	サイズ (MB)	ディスク使用量
ホームディレクトリ内のファイル	0.00 MB	
検索用のサブディレクトリにあるファイル	9.54 MB	
cache	0.00 MB	
mail	3.36 MB	
tmp	0.04 MB	
var	0.00 MB	
var/backups	0.00 MB	
var/mail	0.03 MB	
var/spool	0.05 MB	
var/tmp	0.25 MB	
tmp	1.64 MB	
var/spool/backups	0.00 MB	
var/spool	0.00 MB	
メールのリスト	0.03 MB	
電子メールボックス	0.20 MB	* メールディレクトリに格納されています。
電子メールのサブディレクトリ	7.33 MB	* メールディレクトリに格納されています。
その他の使用状況	1.46 MB	
		合計 17.48 MB のディスク領域が使用されています。
		10,240.00 MB のクォータ制限 (17.48 MB 使用中)。

↑ スペースを節約するように設定された圧縮またはハードリンクの最適化を使用すると、電子メールアカウントストレージがディスク上であるスペースが少なくなる可能性があります。電子メールアカウントストレージには、システムが電子メールの保存に使用するメタデータは含まれていません。

↑ ホームディレクトリ以外のファイル。システムが電子メールをメールディレクトリに保存するために使用するメタデータ、電子メールを二重複写に保存するファイル、またはアクセスする権限がないファイル。

これらの数字は、アバウトのディスク使用量に対する最新の目安を意味していません。

ディレクトリの部外見え結果: 全 19 個			ディスク使用量	
ディレクトリ			含まれるディスク使用量	
	個数	バイト		
./	16.00	56734055		
./bin	0.00	0		
./data	0.00	0		
./eggs	0.01	1487136		
./eggs2016	3.05	31748880		
./eggs2017	0.00	0		
./lib	0.00	0		
./main	0.00	0		
./main2016	0.00	0		
./main2017	0.00	0		
./main2018	0.00	0		
./main2019	0.00	0		
./main2020	0.00	0		
./main2021	0.00	0		
./main2022	0.00	0		
./main2023	0.00	0		
./main2024	0.00	0		
./main2025	0.00	0		
./main2026	0.00	0		
./main2027	0.00	0		
./main2028	0.00	0		
./main2029	0.00	0		
./main2030	0.00	0		
./main2031	0.00	0		
./main2032	0.00	0		
./main2033	0.00	0		
./main2034	0.00	0		
./main2035	0.00	0		
./main2036	0.00	0		
./main2037	0.00	0		
./main2038	0.00	0		
./main2039	0.00	0		
./main2040	0.00	0		
./main2041	0.00	0		
./main2042	0.00	0		
./main2043	0.00	0		
./main2044	0.00	0		
./main2045	0.00	0		
./main2046	0.00	0		
./main2047	0.00	0		
./main2048	0.00	0		
./main2049	0.00	0		
./main2050	0.00	0		
./main2051	0.00	0		
./main2052	0.00	0		
./main2053	0.00	0		
./main2054	0.00	0		
./main2055	0.00	0		
./main2056	0.00	0		
./main2057	0.00	0		
./main2058	0.00	0		
./main2059	0.00	0		
./main2060	0.00	0		
./main2061	0.00	0		
./main2062	0.00	0		
./main2063	0.00	0		
./main2064	0.00	0		
./main2065	0.00	0		
./main2066	0.00	0		
./main2067	0.00	0		
./main2068	0.00	0		
./main2069	0.00	0		
./main2070	0.00	0		
./main2071	0.00	0		
./main2072	0.00	0		
./main2073	0.00	0		
./main2074	0.00	0		
./main2075	0.00	0		
./main2076	0.00	0		
./main2077	0.00	0		
./main2078	0.00	0		
./main2079	0.00	0		
./main2080	0.00	0		
./main2081	0.00	0		
./main2082	0.00	0		
./main2083	0.00	0		
./main2084	0.00	0		
./main2085	0.00	0		
./main2086	0.00	0		
./main2087	0.00	0		
./main2088	0.00	0		
./main2089	0.00	0		
./main2090	0.00	0		
./main2091	0.00	0		
./main2092	0.00	0		
./main2093	0.00	0		
./main2094	0.00	0		
./main2095	0.00	0		
./main2096	0.00	0		
./main2097	0.00	0		
./main2098	0.00	0		
./main2099	0.00	0		
./main2100	0.00	0		
./main2101	0.00	0		
./main2102	0.00	0		
./main2103	0.00	0		
./main2104	0.00	0		
./main2105	0.00	0		
./main2106	0.00	0		
./main2107	0.00	0		
./main2108	0.00	0		
./main2109	0.00	0		
./main2110	0.00	0		
./main2111	0.00	0		
./main2112	0.00	0		
./main2113	0.00	0		
./main2114	0.00	0		
./main2115	0.00	0		
./main2116	0.00	0		
./main2117	0.00	0		
./main2118	0.00	0		
./main2119	0.00	0		
./main2120	0.00	0		
./main2121	0.00	0		
./main2122	0.00	0		
./main2123	0.00	0		
./main2124	0.00	0		
./main2125	0.00	0		
./main2126	0.00	0		
./main2127	0.00	0		
./main2128	0.00	0		
./main2129	0.00	0		
./main2130	0.00	0		
./main2131	0.00	0		
./main2132	0.00	0		
./main2133	0.00	0		
./main2134	0.00	0		
./main2135	0.00	0		
./main2136	0.00	0		
./main2137	0.00	0		
./main2138	0.00	0		
./main2139	0.00	0		
./main2140	0.00	0		
./main2141	0.00	0		
./main2142	0.00	0		
./main2143	0.00	0		
./main2144	0.00	0		
./main2145	0.00	0		
./main2146	0.00	0		
./main2147	0.00	0		
./main2148	0.00	0		
./main2149	0.00	0		
./main2150	0.00	0		
./main2151	0.00	0		
./main2152	0.00	0		
./main2153	0.00	0		
./main2154	0.00	0		
./main2155	0.00	0		
./main2156	0.00	0		
./main2157	0.00	0		
./main2158	0.00	0		
./main2159	0.00	0		
./main2160	0.00	0		
./main2161	0.00	0		
./main2162	0.00	0		
./main2163	0.00	0		
./main2164	0.00	0		
./main2165	0.00	0		
./main2166	0.00	0		
./main2167	0.00	0		
./main2168	0.00	0		
./main2169	0.00	0		
./main2170	0.00	0		
./main2171	0.00	0		
./main2172	0.00	0		
./main2173	0.00	0		
./main2174	0.00	0		
./main2175	0.00	0		
./main2176	0.00	0		
./main2177	0.00	0		
./main2178	0.00	0		
./main2179	0.00	0		
./main2180	0.00	0		
./main2181	0.00	0		
./main2182	0.00	0		
./main2183	0.00	0		
./main2184	0.00	0		
./main2185	0.00	0		
./main2186	0.00	0		
./main2187	0.00	0		
./main2188	0.00	0		
./main2189	0.00	0		
./main2190	0.00	0		
./main2191	0.00	0		
./main2192	0.00	0		
./main2193	0.00	0		
./main2194	0.00	0		
./main2195	0.00	0		
./main2196	0.00	0		
./main2197	0.00	0		
./main2198	0.00	0		
./main2199	0.00	0		
./main2200	0.00	0		
./main2201	0.00	0		
./main2202	0.00	0		
./main2203	0.00	0		
./main2204	0.00	0		
./main2205	0.00	0		
./main2206	0.00	0		
./main2207	0.00	0		
./main2208	0.00	0		
./main2209	0.00	0		
./main2210	0.00	0		
./main2211	0.00	0		
./main2212	0.00	0		
./main2213	0.00	0		
./main2214	0.00	0		
./main2215	0.00	0		
./main2216	0.00	0		
./main2217	0.00	0		
./main2218	0.00	0		
./main2219	0.00	0		
./main2220	0.00	0		
./main2221	0.00	0		
./main2222	0.00	0		
./main2223	0.00	0		
./main2224	0.00	0		
./main2225	0.00	0		
./main2226	0.00	0		
./main2227	0.00	0		
./main2228	0.00	0		
./main2229	0.00	0		
./main2230	0.00	0		
./main2231	0.00	0		
./main2232	0.00	0		
./main2233	0.00	0		
./main2234	0.00	0		
./main2235	0.00	0		
./main2236	0.00	0		
./main2237	0.00	0		
./main2238	0.00	0		
./main2239	0.00	0		
./main2240	0.00	0		
./main2241	0.00	0		
./main2242	0.00	0		
./main2243	0.00	0		
./main2244	0.00	0		
./main2245	0.00	0		
./main2246	0.00	0		
./main2247	0.00	0		
./main2248	0.00	0		
./main2249	0.00	0		
./main2250	0.00	0		
./main2251	0.00	0		
./main2252	0.00	0		
./main2253	0.00	0		
./main2254	0.00	0		
./main2255	0.00	0		
./main2256	0.00	0		
./main2257	0.00	0		
./main2258	0.00	0		
./main2259	0.00	0		
./main2260	0.00	0		
./main2261	0.00	0		
./main2262	0.00	0		
./main2263	0.00	0		
./main2264	0.00	0		
./main2265	0.00	0		
./main2266	0.00	0		
./main2267	0.00	0		
./main2268	0.00	0		
./main2269	0.00	0		
./main2270	0.00	0		
./main2271	0.00	0		
./main2272	0.00	0		
./main2273	0.00	0		
./main22				

PHP のバージョンを変更したい

■cpanel01.jpserve.jp/cpanel02.jpserve.jp をご利用の場合

1. コントロールパネルへログインし、「MultiPHP マネージャー」をクリックします。



PHP のバージョンを選択することができます。

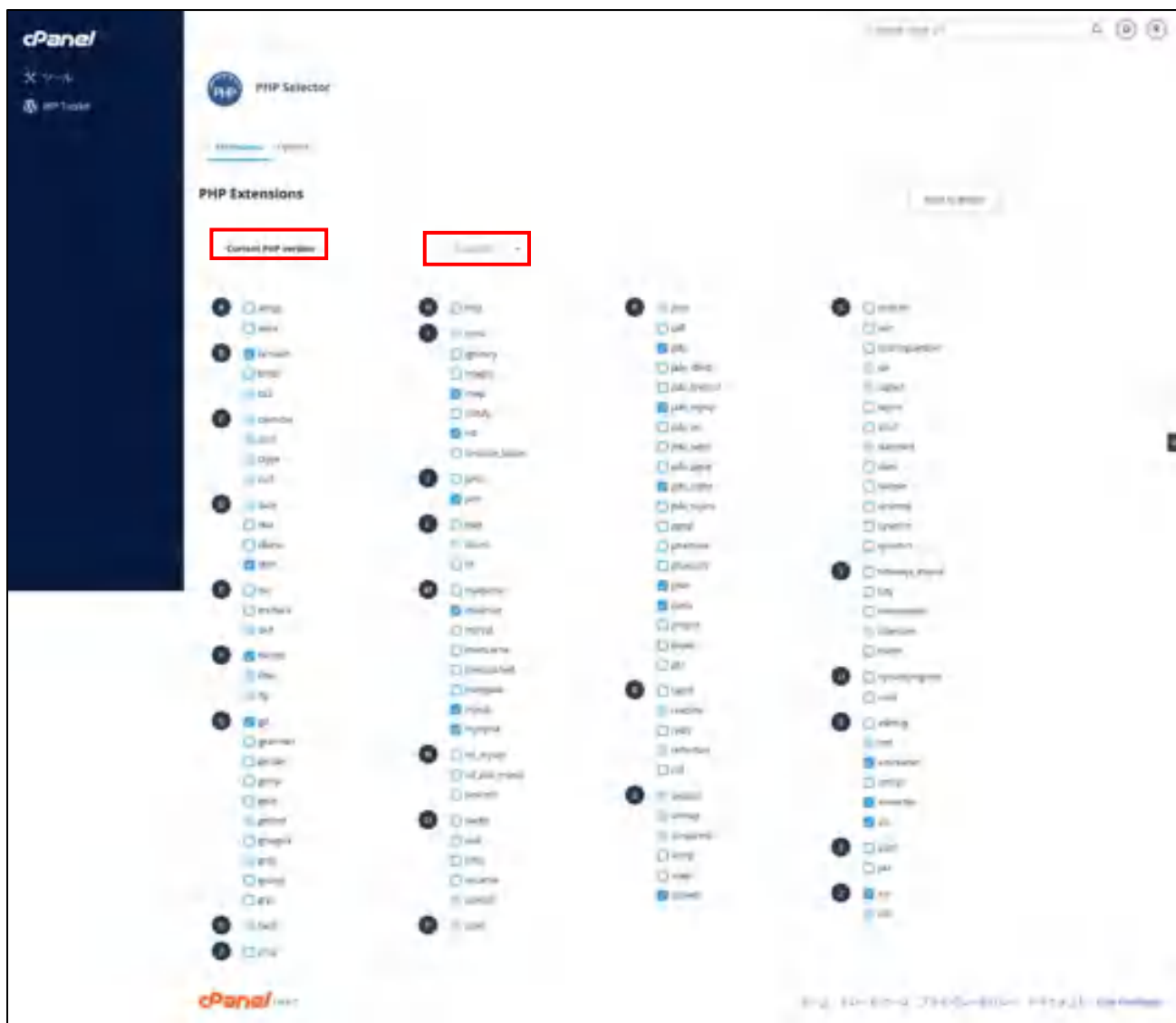
システムの PHP バージョンと表示されているのが、既定の PHP バージョンです。

PHP のバージョンを変更する場合は、該当ドメインにチェックを入れ、右上のドロップリストから変更後のバージョンを選択し、「適用」をクリックします。

※PHP5.4～PHP7.4 は現在、非推奨のバージョンになっています。利用される場合は、不具合・セキュリティ上の問題が起こっても弊社では責任を負いかねます。

※サーバの仕様上、CentOS のサポートされているバージョンで PHP をリリースします。CentOS7 のサポートが終了(2024-06-30 予定)すると、コントロールパネルも追加の PHP バージョンのリリースは終了します。また今後リリースされる OS では、基本的に PHP8 系以降のみご利用可能となる予定です。

※cpanel02.jpserve.jp では PHP7.2 以降のバージョンのみご利用可能となります。



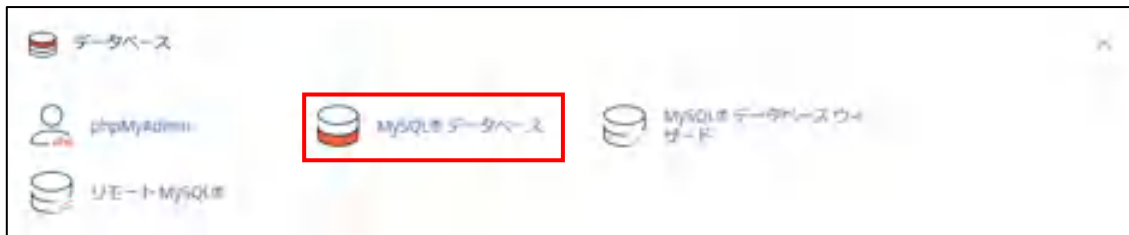
4. データベース

データベースを新規に作成したい

※弊社で領域作成時に、データベースはすでに作成した状態でお渡しいたします。新たに作成する必要がある場合は、既に作成済みのデータベースを削除してから新規作成していただきますようお願いいたします。（削除後は復旧不可）

※「MySQL® データベース ウィザード」から作成すると、データベースとユーザーを同時に作成することができます。作成する際は、「MySQL® データベース ウィザード」からの作成を推奨いたします。

1. コントロールパネルへログインし、「MySQL データベース」をクリックします。



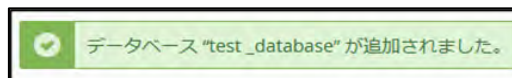
2. 新しいデータベース名を入力し、「データベースの作成」をクリックします。

新しいデータベースの作成

新しいデータベース:

データベースの作成

3. 下記メッセージが表示されますので、「現在のデータベース」に作成したデータベースが表示されていることを確認します。



現在のデータベース

検索

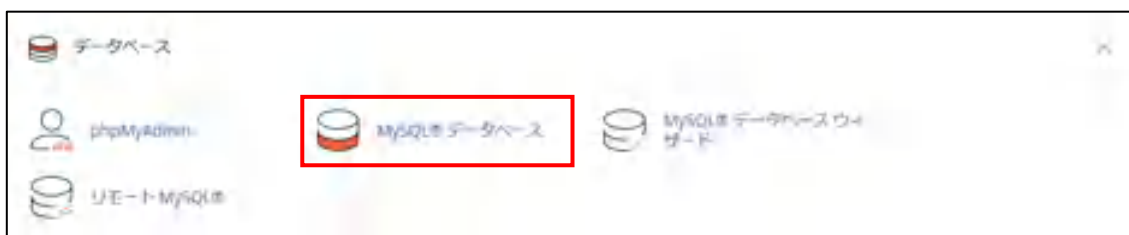
データベース	サイズ	権限を持つユーザー	アクション
test_database	0バイト		名前の変更 削除

ページサイズ 10

データベースユーザーを追加したい

※「MySQL® データベース ウィザード」から作成すると、データベースとユーザーを同時に作成することができます。作成する際は、「MySQL® データベース ウィザード」からの作成を推奨いたします。

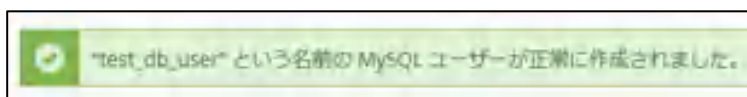
1. コントロールパネルへログインし、「MySQL データベース」をクリックします。



2. 「新しいユーザーの追加」より、「ユーザー名」、「パスワード」を入力し、「ユーザーの作成」をクリックします。パスワードは6文字以上、強度が50以上である必要がございます。

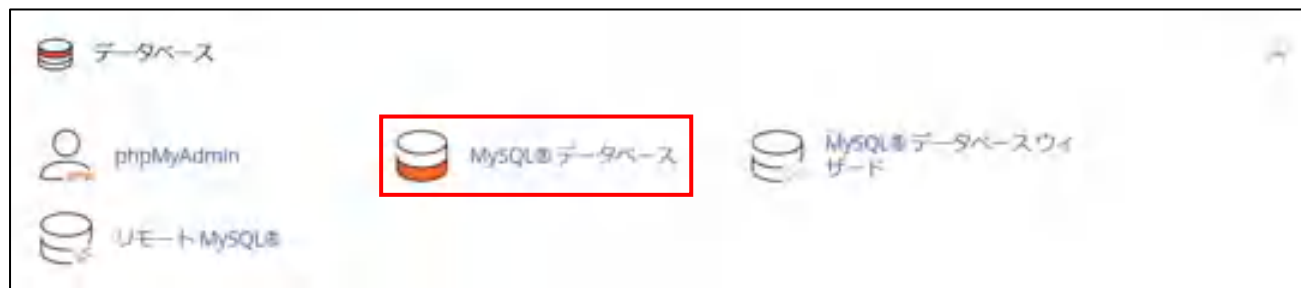


3. 「“入力した MySQL ユーザー名” という名前の MySQL ユーザーが正常に作成されました。」と表示されたら作成完了です。

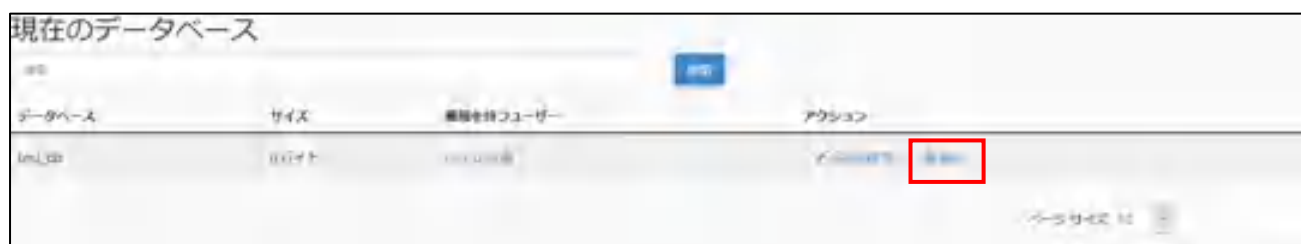


データベースを削除したい

1. コントロールパネルへログインし、「MySQL データベース」をクリックします。

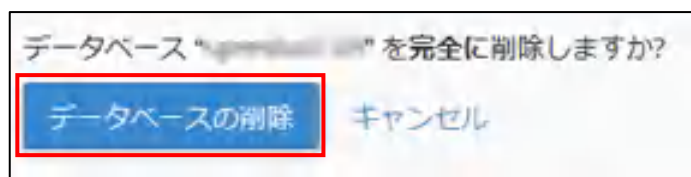


2. 「現在のデータベース」のデータベース一覧右の「アクション」の「削除」をクリックします。



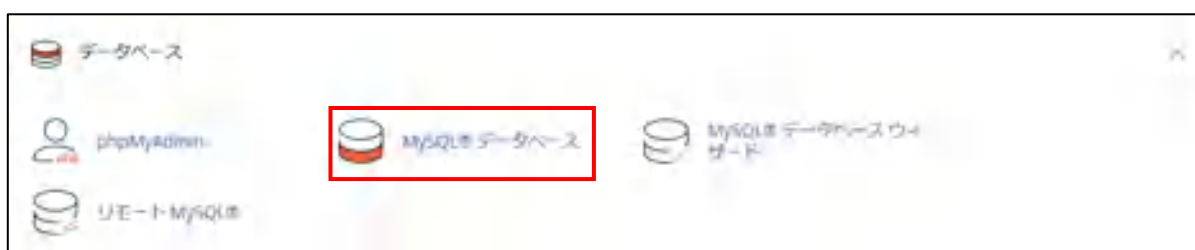
3. 削除確認ダイアログが表示されるので、問題なければ削除を行ってください。

※削除したデータベースは元に戻せませんので、十分にご注意ください。

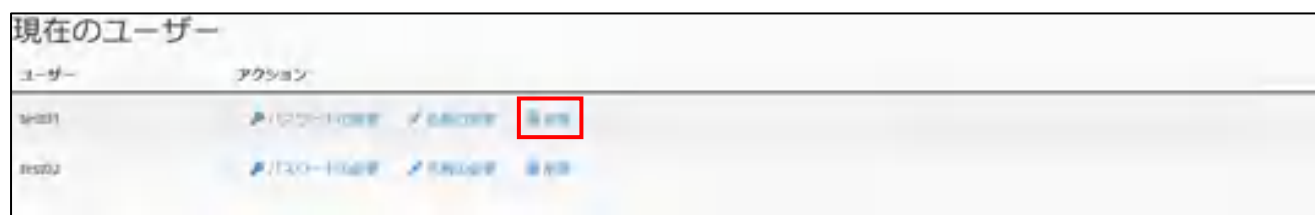


データベースユーザーを削除したい

1. コントロールパネルへログインし、「MySQL データベース」をクリックします。



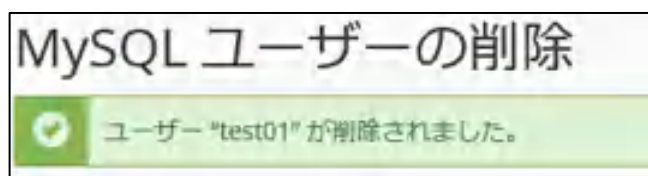
2. 「現在のユーザー」のユーザー一覧右の「アクション」の「削除」をクリックします。



3. 削除確認ダイアログが表示されるので、問題なければ削除を行ってください。



4. 下記画面が表示されたらユーザーの削除完了です。



5. ドメイン

Web サイトを自動的に https で表示するようにしたい

1. コントロールパネルへログインし、「ドメイン」をクリックします。



2. 「Force HTTPS Redirect」を「オン」にします。



3. http でアクセスした際も、強制的に https へリダイレクトされるようになります。
※お客様自身ですでにリダイレクト設定を行っている場合、リダイレクトがループしてサイトが表示できない可能性がありますのでご注意ください。

Web サイトにリダイレクト設定をしたい

※こちらのメニューからではなく、public_html に設定されている.htaccess に直接お客様自身で追記してもリダイレクト設定は可能ですが、サーバのアップデートなどで.htaccess の設定が初期化されてしまう可能性がありますので、コントロールパネルからの設定を推奨いたします。

※.htaccess の修正によりサーバの動作に不具合が発生した場合でも、弊社では修正を行うことはできません。お客様の責任において変更・修正をいただきますようお願いいたします。

1. コントロールパネルへログインし、「リダイレクト」をクリックします。



2. 必要項目を入力し【追加】をクリックします。

リダイレクト

リダイレクトを使用すると、特定のドメインを Web サイトまたは特定の Web ページのいずれかや他のドメインにリダイレクトさせることができます。たとえば、`www.example.com` が自動的にユーザーを `www.example.net` にリダイレクトするようリダイレクトを設定することができます。詳細については、[WordPress のリダイレクト](#) を参照してください。

リダイレクトの追加

恒久的リダイレクトは、リダイレクトされているページにリンクされたブックマークを更新するよう訪問者のブラウザに通知します。一時リダイレクトでは、訪問者のブックマークは更新されません。

種類

☒ 永続 (301) ✓

☐ 一時 (302)

https://www.jp

**** すべてのドメインに適用するドメイン ****

リダイレクト先

www. リダイレクト:

☒ www. 恒久的にリダイレクト

☐ www. 恒久的にリダイレクトしない

☐ www. 恒久的にリダイレクトしない

☐ ワイルドカードリダイレクト

追加

詳細:

- 「ワイルドカードリダイレクト」ボックスにチェックを入れると、ディレクトリ内のすべてのファイルがリダイレクトされたディレクトリ内の同じファイル名にリダイレクトされます。
- ワイルドカードリダイレクトを使用して、メインドメインをサイト上の他のディレクトリにリダイレクトすることはできません。

- ①種類：「永続」か「一時」かを選択します。

「永続」…ブックマークの URL も変更され、検索エンジンや評価もリダイレクト先の URL で置き換わります。

「一時」…ブックマークの URL は変更されず、検索エンジンや評価もリダイレクト前の URL を見続けます。

- ②https?://(www.)?: リダイレクトを行う独自ドメインを選択します。ドメインの下階層の URL のリダイレクトを行いたい場合は、下の入力欄「/」に続きを入力します。

- ③リダイレクト先：リダイレクト先の URL を「http : //(https://)」から入力します。

- ④www. リダイレクト：いずれかを選択します。

「www. 付きでのみリダイレクト」・・・リンクに www がついている、またはユーザーが URL に www を入力した場合にのみリダイレクトされます。

「www. 付きまたは www. なしでリダイレクト」・・・www の有り無し関係なくリダイレクトされます。

「リダイレクトしない: www.」・・・リンクに www がついている、またはユーザーが URL に www を入力した場合はリダイレクトされません。

⑤ワイルドカードリダイレクト：こちらにチェックを入れることで、下の階層のリンクも全て、リダイレクト先の新しいドメインの同じ階層にリダイレクトされます。

(例) 「www.example.com/test.jpg」 → 「www.new-example.com/test.jpg」

＜転送元のいずれの階層にアクセスした場合でも、転送先の TOP ページにリダイレクトする場合＞

(例) 「www.example.com/test.jpg」 → 「www.new-example.com/」

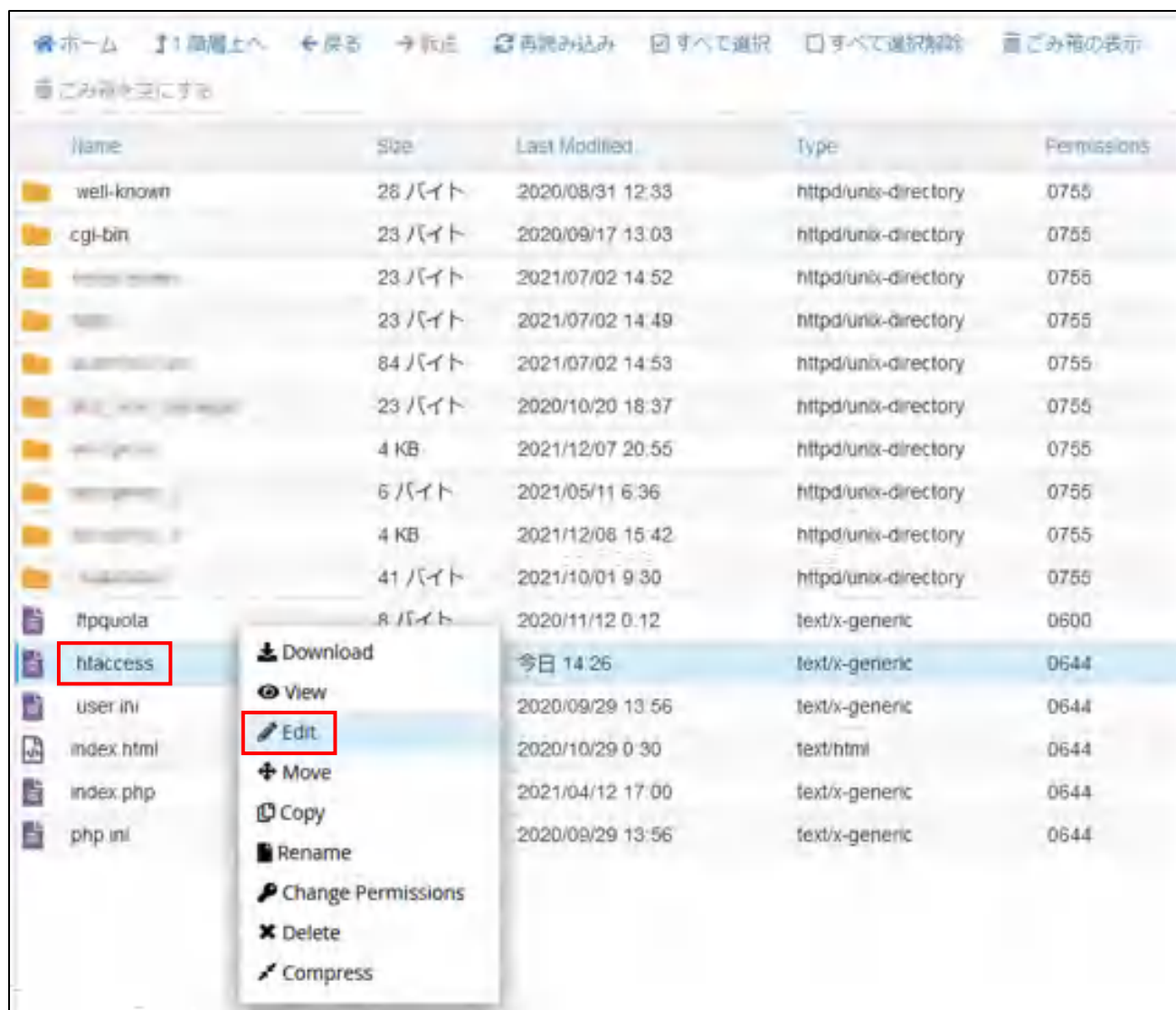
1. 前述のリダイレクト設定の際、「ワイルドカードリダイレクト」にチェックを入れてリダイレクト設定を行います。
2. 転送元ドメインの「ファイルマネージャー」を選択します。



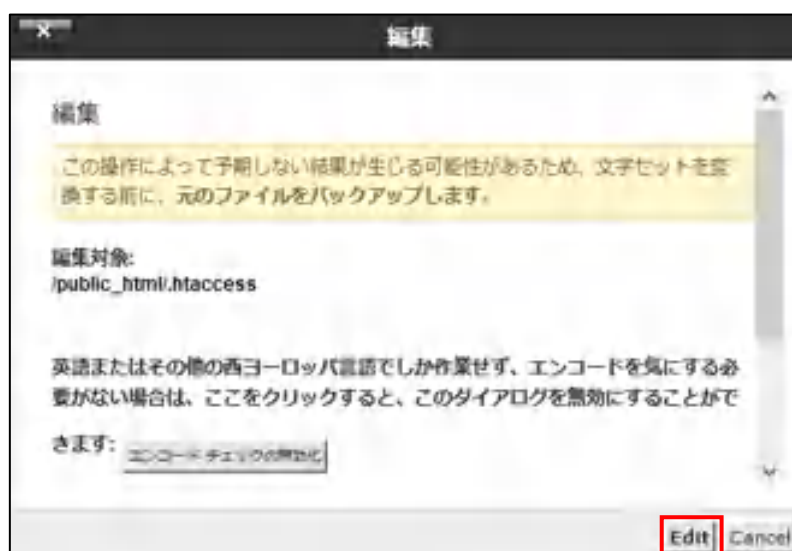
3. 「public_html」を選択します。

<div> <div>ホーム</div> <div>↑1階層上へ</div> <div>←戻る</div> <div>→転送</div> <div>再読み込み</div> <div>すべて選択</div> <div>すべて選択解除</div> <div>ごみ箱の表示</div> </div> <div>ごみ箱を空にする</div>				
Name	Size	Last Modified	Type	Permissions
etc	151 バイト	今日 14:47	httpd/unix-directory	0750
logs	4 KB	昨日 21:35	httpd/unix-directory	0700
mail	4 KB	2021/03/01 17:38	mail	0751
public_ftp	22 バイト	2021/02/15 14:40	publicftp	0750
public_html	4 KB	今日 7:16	publichtml	0750
ssl	77 バイト	2021/11/30 4:45	httpd/unix-directory	0755
tmp	243 バイト	2021/04/02 15:27	httpd/unix-directory	0755
wordpress-backups	6 バイト	2021/02/15 18:00	httpd/unix-directory	0700
access-logs	32 バイト	2021/02/15 14:42	httpd/unix-directory	0777
www	11 バイト	2021/02/15 14:40	publichtml	0777

4. 「.htaccess」を右クリックし、「EDIT」を選択します。



5. 「.htaccess」を右クリックし、「EDIT」を選択します。



6. 「.htaccess」の内容が表示されますので、最下部に記載してある先ほど追加したりダイレクト設定から、末尾の「\$1」のみを削除します。

```
RewriteCond %{HTTP_HOST} ^[a-z0-9-]+\.[a-z0-9-]+\.com$ [OR]
RewriteCond %{HTTP_HOST} ^www\.[a-z0-9-]+\.[a-z0-9-]+\.com$
RewriteRule ^(.*)$ "https://\/\[/[a-z0-9-]+\.[a-z0-9-]+\.com\$1" [R=301,L]
```

7. 修正後、画面右上の「変更の保存」をクリックして、変更完了です。



6. SSL

※SSL 証明書の持ち込みは、JPS スタンダードプランのみの機能となります。JPS ライトプランでは、弊社指定（cPanel 付属）の SSL 証明書のみ使用できます。

※無料の SSL はドメイン登録後有効になるまでお時間がかかります。恐れ入りますが、2 日ほど経っても有効にならない場合は弊社までご連絡ください。

※サーバの OS、Web サーバソフトウェアは下記になります。外部で SSL 証明書を取得する際の参考にしてください。

OS : Linux

Web サーバ : Apache

秘密鍵を作成・アップロードしたい

1. コントロールパネルへログインし、「SSL/TLS」をクリックします。



2. 「秘密キーを生成、表示、アップロード、または削除します。」をクリックします。

SSL/TLS Manager

SSL/TLS Manager を使用すると、SSL 証明書、証明書署名要求、および秘密キーを生成することができます。これらがあれば、SSL を使用して Web サイトのセキュリティを保護することができます。SSL では、ログインやクレジットカード番号などの情報をプレーン テキストではなく暗号化して送信することで、サイト上のページのセキュリティを保護します。サイトのログイン エリア、ショッピングエリア、および Web 上で機密情報が送信される可能性があるその他のページのセキュリティを保護することは重要です。

DEFAULT SSL/TLS KEY TYPE

The default key type for SSL/TLS certificates and CSRs.

☒ Use the system's default key type. [ヘルプ](#) [閉じる](#)

Current value: RSA, 2,048-bit

☐ RSA, 2,048-bit

☐ ECDSA, P-384 (secp384r1)

☐ ECDSA, P-256 (prime256v1)

☐ RSA, 4,096-bit

[保存](#)

秘密キー (KEY)

秘密キーを生成、表示、アップロード、または削除します。

証明書署名要求 (CSR)

SSL 証明書署名要求を生成、表示、または削除します。

証明書 (CRT)

SSL 証明書を生成、表示、アップロード、または削除します。

サイトの SSL のインストールおよび管理 (HTTPS)

SSL サイトを管理します。

3. 新しい秘密鍵を作成・もしくはアップロードします。

<秘密鍵を新規に作成する場合>

必要事項を入力し、「生成」をクリックします。

新しい秘密キーを生成します。

You should generate a new key file for each certificate you install.

キーの種類

RSA, 2,048-bit (Default)

説明:

オプション: このフィールドには、この秘密キーの説明を入力できます。

[生成](#)

- ・キーの種類: 希望のキーサイズを選択します。推奨は 2048 ビットです。

- ・説明： 秘密鍵の説明がある場合は、入力します。

<既存の秘密鍵をアップロードする場合>

秘密鍵の内容を貼付して「保存」をクリックするか、もしくは「参照」からローカルにある.key ファイルを選択してアップロードします。

新しい秘密キーをアップロードします。

既存のキーが存在する場合は、以下のキーを貼り付けるか、それをサーバーにアップロードします。

次のテキストボックスにキーを貼り付けます：

説明：

オプション：このフィールドには、この秘密キーの説明を入力できます。

保存

または

.key ファイルを選択してください：

参照... ファイルが選択されていません。

説明：

オプション：このフィールドには、この秘密キーの説明を入力できます。

アップロード

① 秘密鍵を貼り付けて作成

- ・次のテキスト ボックスにキーを貼り付けます： 既存の秘密鍵をメモ帳などのテキストエディタで開き、すべてをコピーペーストします。
- ・説明： 秘密鍵の説明が必要な場合は、入力します。

② 秘密鍵をアップロードして作成

- ・.key ファイルを選択してください。： 「参照」をクリックしてローカルにある秘密鍵を選択し、アップロードします。

- ・説明： 秘密鍵の説明が必要な場合は、入力します。

4. 貼り付け、もしくはアップロードが終わったら、それぞれ「保存」、「アップロード」をクリックします。

CSR を作成したい

1. コントロールパネルへログインし、「SSL/TLS」をクリックします。



2. 「SSL 証明書署名要求を生成、表示、または削除します。」をクリックします。



3. 申請用の各項目を入力して「生成」をクリックします。

キー*

Generate a new 2048 bit RSA key.

ドメイン*

Provide the FQDNs that you are trying to secure, one per line. You may use a wildcard domain by adding an asterisk to a domain name in the form: *.example.com. ひとつ多くのCAでは、ワイルドドメイン証明書は提供されないが、部署名やグループ名があるホスト/ワイルドカードドメインが含まれる証明書を発行してもらう場合、通常より高い料金を請求されることがあります。

市区町村*

市区町村の正式名称を入力します。省略は使用しないでください。

ステータス*

登録希望の正式名称を入力します。省略は使用しないでください。

国*

国や地域を選択します。

会社*

会社名または屋号を入力します。

会社の部署*

部署名を入力します。

電子メール*

ドメインの所有権を確認するために連絡を受け取ることができる有効な電子メールアドレスを指定します。

パスフレーズ*

一部の証明機関では、パスフレーズを取得するために CSR が必要になる場合があります。証明機関は、CSR パスフレーズを使用することで、通信を行う個人および組織の身分を確認することができます。CSR パスフレーズは、CSR に暗号化されずに保存されます。これに加えて、このパスフレーズは第三者と共有されるため、ここでは重要なパスワードを使用しないでください。

説明

生成

会社*

会社の登記名を入力してください。会社名にピリオドまたはコンマ以外の記号が含まれる場合は、その記号を使用できることを証明機関に確認してください。

会社の部署*

上記の会社における部署またはグループの名前を入力します。部署名にピリオドまたはコンマ以外の記号が含まれる場合は、その記号を使用できることを証明機関に確認してください。

電子メール*

ドメインの所有権を確認するために連絡を受け取ることができる有効な電子メールアドレスを指定します。

パスフレーズ*

一部の証明機関では、パスフレーズを取得するために CSR が必要になる場合があります。証明機関は、CSR パスフレーズを使用することで、通信を行う個人および組織の身分を確認することができます。CSR パスフレーズは、CSR に暗号化されずに保存されます。これに加えて、このパスフレーズは第三者と共有されるため、ここでは重要なパスワードを使用しないでください。

説明

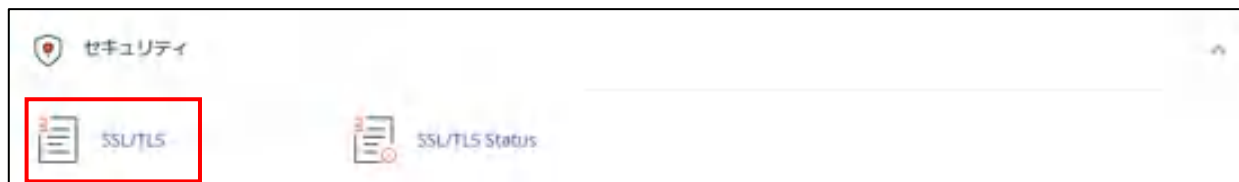
生成

- ・ キー: 前項で作成した 対になる 2048 ビット の秘密鍵を選択します
 - ・ ドメイン: SSL を使用したい FQDN を入力します。(例:www.example.jp,example.jp)
 - ・ 市区町村: 英字表記の市区町村名 (例: Sendai-shi)
 - ・ ステータス (State の誤訳です): 英字表記の都道府県名を入力します。(例: MIYAGI)
 - ・ 国: JP (日本) を選択します。
 - ・ 会社: 英字表記の会社名 または 屋号 を入力します。(例:SPEEDIA Co., Ltd.)
 - ・ 会社の部署: 英語表記の担当部署名を入力します。(例:Server Division)
 - ・ 電子メール: 連絡先のメールアドレスを入力します
- 4. 生成された CSR が表示されます。生成された CSR は、外部サイトで SSL 証明書を取得する際に使用します。

※外部サイトでの SSL 取得については、外部サイトの SSL 証明書発行手順をご参照ください。

SSL 証明書・中間証明書をインストールしたい

1. コントロールパネルへログインし、「SSL/TLS」をクリックします。



2. 「SSL 証明書を生成、表示、アップロード、または削除します。」をクリックします。



3. 「新しい証明書のアップロード」から、以下のいずれかの方法で証明書をインストールします。

新しい証明書のアップロード

このフォームは、サードパーティの証明機関から提供された証明書をアップロードするときに使用します。証明書の本文を貼り付けるか、.crtファイルから証明書の本文をアップロードすることができます。

次のテキスト ボックスに証明書を貼り付けます:

説明

証明書の保存

または

証明書ファイル (*.crt) を選択します。

参照... ファイルが選択されていません。

説明

証明書のアップロード

<証明書をテキストとして貼り付け>

- ・ 次のテキスト ボックスに証明書を貼り付けます： SSL 証明書をメモ帳などのテキストエディタで開き、すべてをコピーペーストします。
- ・ 説明： 証明書の説明が必要な場合は、入力します。

<証明書ファイルをアップロード>

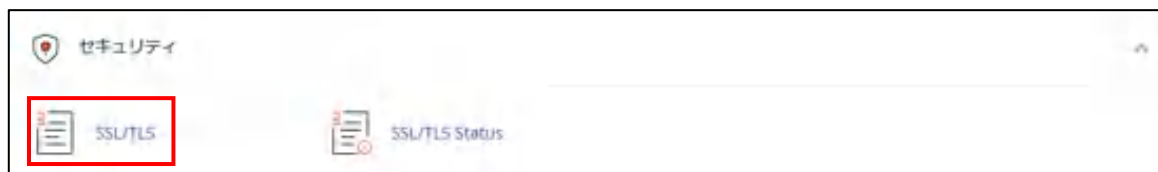
- ・ 証明書ファイル (*.crt) を選択します。： 「参照」をクリックして、ローカルにある証明書ファイルを選択します。
- ・ 説明： 証明書の説明が必要な場合は、入力します。

4. 貼り付け、もしくは選択が終わったら、それぞれ「証明書の保存」、「証明書のアップロード」をクリックします。

※中間証明書のインストール手順も同様です。

SSL を有効化したい

1. コントロールパネルへログインし、「SSL/TLS」をクリックします。



2. 「SSL 証明書を生成、表示、アップロード、または削除します。」をクリックします。



3. サーバにインストールされている証明書の一覧が表示されますので、設定したい SSL 証明書右の「インストール」をクリックします。



4. 選択した SSL 証明書をインストールする画面に遷移しますので、「証明書のインストール」をクリックします。

SSL Web サイトをインストールします

Note: You don't have a dedicated IP address. Browsers that were released before 2013 may not support SNI. Because of this, users may see false security warnings when they visit your SSL-secured websites.

証明書の種類

ドメイン

IP アドレス

証明書 (CRT)

証明書による自動入力

ドメイン

発行費: cPanel, Inc.
 キーサイズ: 2,048 ビット (a77883d...)
 有効期限: 2020/11/30 00:00

この証明書は、30 日後に期限切れになります。 (2020/11/30)

証明書は既にサーバーに存在する可能性があります。証明書をここに貼り付けると、ドメイン用に証明書の再頒発を試みることができます。

Note: You don't have a dedicated IP address. Browsers that were released before 2013 may not support SNI. Because of this, users may see false security warnings when they visit your SSL-secured websites.

2004年7月

トメイン

```

...
(* subdomain: zpanel, r

```

IP アドレス

01 2025 0000

證明書: (CCT)

[illegible]

廣州海上巴士自動入口

トクインズ

1990s, and 2000s.
 Copyright © 2000, 2001, 2002
 by the American Psychological Association
 0893-3200/01/\$12.00
 DOI: 10.1037/0893-3200.15.1.100

発行所: CPanel, Inc.

キーサイズ:2,048 ビット (6f78983d ...)

有效期: 2020/11/30 00:00:00

この証明書は、20 日後に期限切れになります。(1000000)

証明書は既にサーバーに存在する可能性があります。証明書をここに貼り付けると、ドメイン用に証明書の取得を試みることができます。

秘密キー (KEY)

-----BEGIN RSA PRIVATE KEY-----

秘密キーは既にサーバーに存在する可能性があります。秘密キーをここに貼り付けるか、証明書用に一致するキーの取得を試みることができます。

証明機関バンドル: (CABUNDLE)

-----BEGIN CERTIFICATE-----

ほとんどの場合、サーバーはインストール時に CA バンドルをパブリックリポジトリからフェッチするため、CA バンドルを指定する必要はありません。

証明書のインストール リセット

- 「SSL ホストが正常にインストールされました」と表示されれば完了です。

SSL ホストが正常にインストールされました

この SSL 証明書は既にインストールされています。

現在、SSL Web サイトはアクティブで、このドメインの HTTPS を介してアクセスできます:

- [https://example.com](#)
- [https://www.example.com](#)

✓ SSL 証明書はこのドメインもサポートしていますが、このドメインは上記で説明されている SSL Web サイトを参照していません:

- [https://example.com](#)
- [https://www.example.com](#)
- [https://example.com](#)
- [https://example.com](#)

OK

7. WordPress

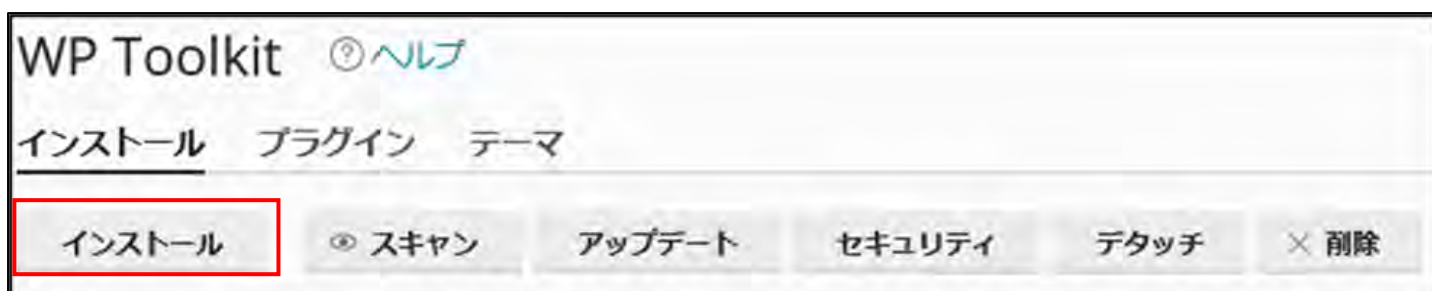
WordPress をインストールしたい

※WordPress を含め CMS 等はサポート対象外となります。WordPress 自体の操作・運用はお客様任意でお願いいたします。

1. コントロールパネルへログインし、「WP Toolkit」をクリックします。



2. 「インストール」をクリックします。



3. セットアップ画面が表示されますので、各項目に従って設定を行い、「インストール」をクリックします。WordPress 管理者のユーザ名・パスワードとデータベースユーザ名・パスワードは忘れずにメモしてください。

WordPress をインストール

インストールオプションを選択

ご利用のホスティングプランでは、これ以上データベースを作成できません。WordPress インストールは、データベースを新規作成せず、既存のデータベースを使用します。

フィールドを空のままにすると、値がランダムに生成されます。

全般

インストールパス	<input type="text" value="https://example.com/wp-install/"/> インストールディレクトリ
ウェブサイトタイトル	<input type="text" value="Vacation Dreams"/>
プラグインテーマセット	<input type="text" value="None"/>
ウェブサイトの言語	<input type="text" value="日本語"/>
バージョン	<input type="text" value="5.9.3 (current)"/>

WordPress 管理者

ユーザ名	<input type="text" value="admin"/>
パスワード	<input type="password" value="password"/> 生成
メールアドレス	<input type="text" value="example@example.com"/>

データベース

データベース名	<input type="text" value="example"/>
データベーステーブルのプレフィックス	<input type="text" value="B3ayGCGeL_"/>
データベースユーザ名	<input type="text" value="example"/>
データベースユーザのパスワード	<input type="password" value="password"/> 生成

自動更新の設定

WordPress Toolkit は、WordPress コア、プラグイン、テーマのアップデートを公開後すぐに自動インストールできます。

WordPress を自動更新 ☒ ①

- ☐ いいえ
たとえば、4.7.1 も 4.8 も自動的にインストールされません。
- ☐ はい、ただしマイナー（セキュリティ）アップデートのみ
たとえば、4.7.1 はインストールされますが、4.8 はされません。
- ☒ はい、すべての（マイナーおよびメジャー）アップデート
たとえば 4.7.1 と 4.8 を自動的にインストールします。

プラグインを自動更新 ☒

- ☒ 個別に定義
各プラグインは独自の自動更新設定を使用します
☐ WordPress Toolkit 経由でインストールされた新しいプラグインに対し、デフォルトで自動更新を有効にする
- ☐ 個別に定義されますが、セキュリティアップデートは自動更新されます
プラグインごとに個別の自動更新設定を使用しますが、脆弱性のあるプラグインは設定にかかわらず自動更新されます
WordPress Toolkit 経由でインストールされた新しいプラグインに対し、デフォルトで自動更新を有効にする
脆弱性プラグインを更新ではなく非アクティブにする
- ☐ 強制
すべてのプラグインが個別の自動更新設定にかかわらず強制的に自動更新されます
脆弱性プラグインを更新ではなく非アクティブにする

テーマを自動更新 ☒

- ☒ 個別に定義
各テーマは独自の自動更新設定を使用します
☐ WordPress Toolkit 経由でインストールされた新しいテーマに対し、デフォルトで自動更新を有効にする
- ☐ 個別に定義されますが、セキュリティアップデートは自動更新されます
テーマごとに個別の自動更新設定を使用しますが、脆弱性のあるテーマは設定にかかわらず自動更新されます
WordPress Toolkit 経由でインストールされた新しいテーマに対し、デフォルトで自動更新を有効にする
- ☐ 強制
すべてのテーマが個別の自動更新設定にかかわらず強制的に自動更新されます

全般

・インストールパス：WordPress をインストールするディレクトリを選択します。

<https://example.jp/wordpress/> のような URL でアクセスしたい場合は、/wordpress を設定します。

<https://example.jp/wordpress/> に WordPress をインストールしたいが、ブラウザでのアクセス URL は <https://example.jp/> にしたい場合、WordPress の管理画面で設定を変更する必要がある場合があります。設定変更方法については、WordPress 公式の手順をご参照ください。

また、サーバ移行等のために臨時 FTP 領域の URL を指定してインストールした場合も、DNS 切り替え後に WordPress の管理画面で URL を変更する必要があります。手順については WordPress 公式の手順をご参照ください。

DNS 切り替え前に、独自ドメインで WordPress をインストールした場合は、お客様自身のパソコンの hosts ファイルを修正してホームページを確認する方法もございます。(hosts ファイル編集はサポート対象外のため任意でお試しく下さい。)

- ・ウェブサイトタイトル：WordPress のサイト名を設定します。
- ・プラグイン/テーマセット：WordPress のプラグイン・テーマを選択可能です。
- ・ウェブサイトの言語：WordPress のサイトの言語を選択します。
- ・バージョン：WordPress のバージョンを選択します。

WordPress 管理者

- ・ユーザ名：WordPress の管理者ユーザ名を入力します。セキュリティ確保の為、admin など一般的な名前は使用せず変更することをお勧めします。
- ・パスワード：WordPress の管理者パスワードを入力します。
- ・メールアドレス：WordPress の管理者のメールアドレスを入力します。

データベース

- ・データベース名：WordPress をインストールするデータベースです。ログイン情報に記載の、すでに作成済みのデータベース名を入力します。
- ・テーブルプレフィックス：データベースのテーブル名に使用する接頭辞です。任意の文字列に変更可能です。
- ・データベースユーザ名：データベースのユーザ名を入力します。デフォルトでは新規ユーザが作成されますが、既存ユーザ名を入力して使用することも可能です。
- ・データベースユーザのパスワード：データベースユーザのパスワードを入力します。既存ユーザを使用する場合は「データベースユーザ名」欄で指定したユーザのパスワードを入力してください。

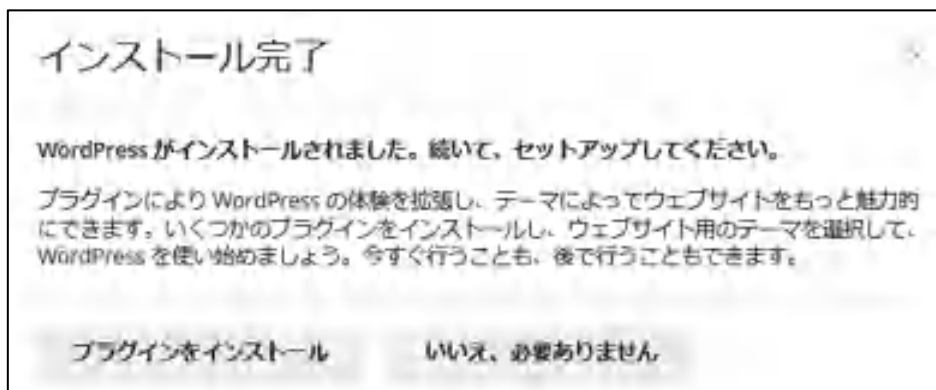
自動更新の設定

・WordPress を自動更新：WordPress を自動でアップデートされるように設定することが可能です。任意に選択していただいて構いません。

・プラグインを自動更新：プラグインを自動でアップデートされるように設定することが可能です。任意に設定していただいて構いません。

・テーマを自動更新：テーマを自動でアップデートされるように設定することが可能です。任意に設定していただいて構いません。

4. インストール完了画面が表示されます。プラグインのインストールを今すぐ行う場合、プラグインをインストールを選択してください。



5. WP Toolkit のホーム画面にて、ログインをクリックすると WordPress の管理画面にアクセスできます。画像部分をクリックすると WordPress のサイトにアクセスできます。

